

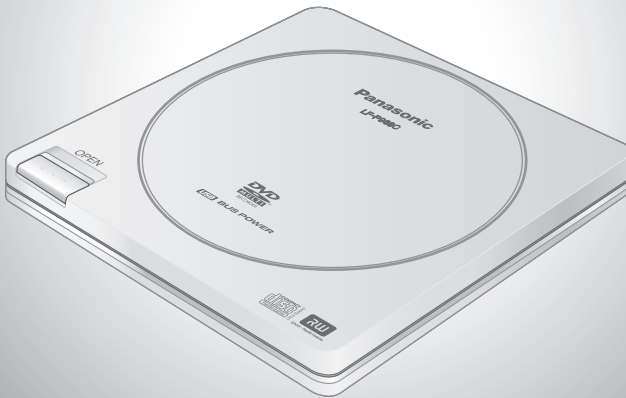
# Panasonic<sup>®</sup>

## ポータブル DVD MULTI ドライブ

## 取扱説明書

品番 **LF-P968C**

### Super MULTI



#### 保証書別添付

このたびは、パナソニック ポータブル DVD MULTI ドライブをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(6～9 ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

# お使いいただくまえに

本機をパソコンで正しくご使用いただくためには、以下の確認・操作を行う必要があります。

## 正しくお使い いただくために (本書)

本機を正しくお使いいただくための説明  
はじめによくお読みください

- パソコンと本機を接続する
- パソコンに DVD-RAM ドライバーをインストールする
- セットアップを確認する

(CD-ROM、DVD-ROM、DVD-RAM ドライブとしてご使用いただけます)

## DVD ビデオ 再生ソフト

- PowerDVD をインストールする  
(使用方法についてはクイックガイドをよくお読みください。)

(DVD ビデオをご覧いただけます)

## DVD-Video 編集ソフト

- PowerProducer をインストールする  
(使用方法についてはクイックガイドをよくお読みください。)

(映像を編集し、DVD-Video 形式のディスクを作成できます)

## 記録／暗号化 ソフト

- B's Recorder GOLD / B's File Guard をインストールする  
(使用方法についてはクイックガイドをよくお読みください。)

(対応メディアへのデータ記録やデータの暗号化ができます)

## DVD-RAM 対応 編集ソフト

- DVD-MovieAlbum をインストールする  
(使用方法についてはクイックガイドをよくお読みください。)

(DVD-RAM の映像を編集できます)

(付属アプリケーションのバージョンなどは省略しています。また各アプリケーションで作成したディスクは、これらのディスクに対応したすべての機器での再生を保証するものではありません。)

- Microsoft と Windows、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- B's Recorder は株式会社ビー・エイチ・エーの登録商標です。
- PowerDVD、PowerProducer はサイバーリンク株式会社の商標です。
- SmoothLink、COMBINE CABLE(コンバインケーブル)は松下電器産業株式会社の登録商標です。
- +R、+R DL、+RW は +RW アライアンスで策定された名称です。
- その他の記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。以降各社の、登録商標または商標の記号表記は省略します。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- 本書の記載内容は予告なしに変更される場合があります。

# 本機の特長

- 携帯性に優れた薄型コンパクトデザイン
- USB バスパワー時でも AC アダプター使用時と同等の記録・再生速度を実現 \*1
- 1 台で DVD-RAM/R/R DL/RW、+R/R DL/RW、CD-R/RW 9 種類の記録に対応

はじめに

フォーマットタイプ	ディスクタイプ	記録	再生
DVD フォーマット	DVD-RAM*2 片面 4.7GB/1.4GB 両面 9.4GB/2.8GB	●	●
	DVD-RAM*2 片面 2.6GB	—	●
	DVD-R (for General Ver.2.0/2.1)	●	●
	DVD-R DL (Ver.3.0) *3	●	●
	DVD-RW (Ver.1.1/1.2)	●	●
	+R (Ver.1.0/1.1/1.2/1.3)	●	●
	+R DL (Ver.1.0/1.1) *3	●	●
	+RW (Ver.1.1/1.2/1.3)、+RW (High Speed Ver.1.0)	●	●
CD フォーマット	DVD-Video、DVD-ROM	—	●
	CD-R	●	●
	CD-RW	●	●
	CD-ROM、音楽 CD、CD-EXTRA、Photo CD、Video CD	—	●

- DVD ビデオレコーダーで録画されたディスクの再生に対応
- 各種アプリケーションを付属

映像系アプリケーション	データ系アプリケーション
<b>PowerProducer *4</b> DVD-Video・ビデオレコーディングフォーマットのディスク作成・編集ソフト	<b>B's Recorder GOLD</b> ライティングソフト
<b>DVD-MovieAlbum *5</b> DVD-RAM ビデオレコーディングフォーマット編集ソフト	<b>B's File Guard</b> 暗号化ソフト
<b>PowerDVD *4</b> DVD-Video 再生ソフト(CPRM 対応版)	<b>ドライブチェッカー *6</b> ディスクの取り出し忘れを防止したり、ドライブやメディアの情報を表示するツールです。

- \*1 パソコン本体の USB バス電源供給性能により、USB バスパワーでの動作ができない場合があります。  
PCI ボード・PCMCIA カードに接続される場合や他の USB 機器と併用される場合は、AC アダプターをご使用ください。
- \*2 DVD-RAM のカートリッジタイプのディスクは、ディスクを取り出してご使用ください。カートリッジから取り出せない TYPE1 ディスクは、ご使用できません。  
両面ディスクは同時に両面の記録再生はできません。
- \*3 本機で記録した DVD-R DL、+R DL のディスクを本機以外で再生するには、DVD-R DL、+R DL に対応したドライブやプレーヤーが必要です。
- \*4 CPRM で著作権保護された映像を再生するためには、最初にインターネット接続での認証が必要です。
- \*5 CPRM で著作権保護された映像を扱うためには、CPRM アップグレードキットの購入が必要です。
- \*6 付属のツールは本機専用です。

# 付属品のご確認

ご使用いただくまえに、次のものがそろっているか確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

## 付属品

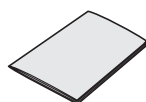
専用 USB ケーブル

(中国製)

(品番: K1HA059D0005)



取扱説明書



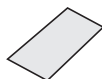
AC アダプター

(中国製)

(品番: KX-WZ712)



保証書



電源コード

(中国製)

(品番: K2CA29A00017)



B's Recorder GOLD/B's File Guard  
クイックガイド

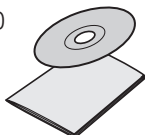
PowerProducer/PowerDVD  
クイックガイド

DVD-MovieAlbum  
クイックガイド



CD-ROM

- ・ B's Recorder GOLD
- ・ B's File Guard
- ・ PowerDVD
- ・ PowerProducer
- ・ DVD-MovieAlbum
- ・ DVD-RAM ドライバー
- ・ ドライブチェッカー
- ・ 本機および各社電子マニュアル (本書)



ケース(クイックガイド)

※ケースにシリアル番号があります



- 付属品を開封前に、必ず「エンドユーザーライセンス契約書」(P.89～90ページ)をお読みください。
- イラストは現物と一部異なる場合があります。
- 付属品の内容は予告なく変更される場合があります。

## 別売品

● コンバインケーブル(中国製 品番: KXL-P301AN)★

※ 動作検証状況は

<http://panasonic.jp/p3/pro/lfp968c.html> をご確認ください。



付属品・別売品は販売店でお買い求めいただけます。販売店へ上記品番でご注文ください(付属品はサービスルート扱いとなります)。

★印は松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

**PanaSense**

<http://www.sense.panasonic.co.jp/>

## はじめに

お使いいただくまえに	2
本機の特長	3
付属品のご確認	4
安全上のご注意	6
正しくお使いいただくために	10
使用できるディスクについて	13
システムの必要条件	19
各部のなまえとはたらき	20

## 準備

パソコンに接続する	22
AC電源で使用する	22
USBバスパワー(専用USBケーブル)で使用する	23
USBバスパワー(コンバインケーブル・別売品)で使用する	24
ディスクを入れる/取り出す	25
ディスクを入れる	25
ディスクを取り出す	26
ディスクが取り出せないときは	27
セットアップする前に	28
本機付属のソフトウェア	28
本機をご使用いただくための手順とながれ	29
Windowsのバージョンを確認する	30
ご使用パソコンの対応USBを確認する	31
セットアップする	32
DVD-RAMドライバをインストールする	32
セットアップを確認する	35
パソコンから取り外す	37
Windowsの取り外し操作	37
取り外し	39

## 使う

DVD-RAMディスクを使う	40
DVD-RAMを使う	40
フォーマットする	41
DVD-RAMディスクライトプロテクトツールを使う	45
ファイルのコピーやフォーマットができないとき	47
各種ディスクを使う	48
アプリケーションをインストールする	49
ビデオ再生ソフトのインストール	51
DVD-Video編集ソフトのインストール	54
記録/暗号化ソフトのインストール	56
DVD-RAM対応編集ソフトのインストール	59
本機専用ユーティリティソフトのインストール	61
USBバスパワー診断ツールを使う	64

## 必要なとき

お手入れ	66
故障かな!?と思ったら	67
こんな疑問や質問があったら	73
製品サポートのご案内	81
保証とアフターサービス	82
推奨品	86
仕様	87
エンドユーザーライセンス契約書	89
用語解説/補足説明	91
さくいん	97

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



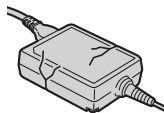
## 警告

### 電源コード・ACアダプターについて

## 電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない



禁止



( 傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたり、布などをかぶせたりしない )

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

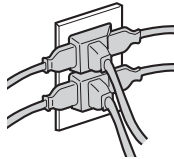
# 警告

## 電源コード・AC アダプターについて

コンセントや配線器具の  
定格を超える使いかたや、  
交流 100 V 以外での使用  
はしない

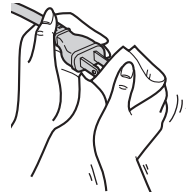


禁 止



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。  
長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで  
確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、電源プラグの  
抜き差しはしない



ぬれ手禁止



感電の原因になります。

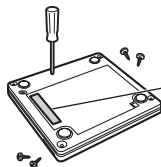
## 警告

### ご使用について

絶対に本機を分解したり、修理・改造しない



分解禁止



クラス 1 レーザ製品

本機は、クラス 1 レーザ製品です。  
レーザ光線による視力障害の原因になることがあります。

- 内部の点検や修理などは、販売店にご依頼ください。

### もし異常が起これたら

異常が発生した場合は、  
電源プラグを抜く

- 煙が出ている、異臭・異音がある
- 異常に熱い
- 本体が破損した
- 本体内に異物が入った



電源プラグ  
を抜く

そのまま使用すると、  
火災や感電の原因になります。

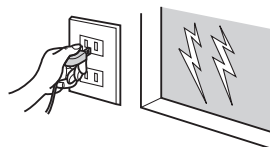
- 使用を中止し、販売店へご相談ください。

### 雷について

雷が鳴りだしたら、電源  
プラグ、AC アダプターや  
本機の金属部に触れない



接触禁止



感電の原因になります。



# ⚠ 注意

## ご使用について

### 電源プラグを接続したまま移動しない

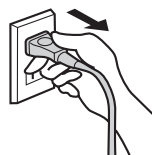


禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

### 電源コードはプラグ部分を持って抜く



電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

### 長時間直接接触して使用しない



禁止

AC アダプターの温度の高い部分に長時間、直接接触していると、低温やけど\*の原因になることがあります。

- ※ 低温やけどについて  
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に、長時間、直接接触していると、低温やけどを起こすおそれがあります。

### ディスクの回転中に本機を移動・振動させない



禁止

ディスクが外れて、ディスクを傷つける原因になります。

### ひび割れや補修したディスクは使用しない



禁止

ディスクが割れてけがの原因になります。

# 正しくお使いいただくために

## 使用場所について

- 夏季の閉め切った自動車内や長時間直射日光の当たるところ、暖房器などの近くで使用したり、放置しないでください  
変形・変色または故障の原因になることがあります。

## ご使用について

- 専用 USB ケーブルおよびコンパインケーブル以外は使用しないでください  
本機やパソコンの故障の原因になることがあります。
- 水や湿気、湯気、ほこり、油煙の多い場所（調理台や加湿器のそばなど）で使用しないでください  
故障の原因になることがあります。
- 本機やディスクを結露した状態で使用しないでください  
寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着（結露）し、誤動作、故障の原因になることがあります。
  - ディスクを取り出し約1時間放置したのち、ご使用ください。
- 本機に磁石など磁気をもつものを近づけないでください  
磁気の影響を受けて、動作が不安定になることがあります。
- 本機内部に金属物を入れないでください  
故障の原因になります。
- レンズに触れないでください  
音とびしたり、データが正常に記録・再生できなくなります。
- 隣接して使用しているラジオやテレビに雑音が入るときは
  - 2 m 以上離してください
  - 同一コンセントでご使用の場合は、コンセントを別にしてください

## AC アダプターについて

- AC アダプターをご利用の際は、付属の KX-WZ712 をご使用ください  
他の AC アダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。  
長時間で使用される場合は、AC アダプターでの使用をお勧めします。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。  
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

高調波電流規格 JIS C 6100-3-2 適合品

## コピーコントロール CD について

- 本機は、CD 規格(コンパクトディスクデジタルオーディオ)に準じていない「コピーコントロール CD」などについては、動作や音質の保証は致しかねます。
- CD 規格に準じた CD の再生や読み出しに支障がなく、上記のような特殊ディスクで支障が出る場合は、ディスクやパッケージ、印刷物などをよくお確かめのうえ、ディスクの発売元へお問い合わせください。

## 記録(書き込み)について

- 本製品の使用や故障により生じたデータの損失ならびに直接的、間接的な損害につきましては、当社は保証をいたしません。あらかじめご了承ください。
- 重要なデータに関しては、万一に備えて元データと照合(ファイルコンペア等)を追加した状態で記録やバックアップ(複製)を行ってください。

## 著作権について

- 本機を利用して音楽用 CD 等の各種ディスク、インターネット上の画像や情報等著作権の対象となっている著作物を、複製または編集することについては、著作権法上、個人または家庭内など限られた範囲内での使用(以下「私的使用」と言います)のみ許容されます。
- 利用者が著作権をお持ちでない著作物を権利者に無断で複製、編集することは著作権法で禁じられています。また、著作物によっては、その使用許諾条件で複製が制限されたり、禁じられている場合がありますので、「私的使用」を目的とする場合でも使用許諾条件の内容に従ってください。

## CPRM での著作権保護について

- CPRM で著作権保護された映像(デジタル放送などで一世代だけ録画が許された映像)を記録した DVD ディスク(DVD-RAM/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW)の再生には、それぞれの CPRM に対応した DVD プレーヤーや DVD ビデオレコーダーまたは、それぞれの CPRM に対応したドライブと再生ソフト、PC 環境が必要です。

## 本書の表記について

- 特にことわり書きのない場合、Windows Vista、Windows XP、Windows 2000 を総称して「Windows」と表記し、Windows XP の操作表現で記載します。
- アプリケーション名の表記は、特にことわり書きのない場合、バージョン（下記 \* 表記）などは下記のように省略しています。
  - PowerProducer \* を総称して「PowerProducer」と表記しています。
  - PowerDVD \* を総称して「PowerDVD」と表記しています。
  - B's Recorder GOLD \* BASIC / Security を総称して「B's Recorder GOLD」と表記しています。
  - DVD-MovieAlbumSE \* を総称して「DVD-MovieAlbum」と表記しています。
- 特にことわり書きのない場合、専用 USB ケーブル、コンパインケーブルを総称して「USB ケーブル」と表記しています。
- 特にことわり書きのない場合、データの「書き込み」や「記録」については、「記録」と表記し、「読み込み」、「読み出し」や「再生」については、「再生」と表記しています。
- アプリケーションソフトのユーザーインターフェースやダイアログボックスに表示されているアイコン名、ボタン名、タブ名、タグ名などは、[xxx] で表記しています。（例：[再生]）
- アイコン、ボタン、フォルダ などにポインタを合わせ、マウスの左ボタンを押して離す操作を「クリック」、クリックを素早く 2 回行うことを「ダブルクリック」と表記しています。
- マウスの右ボタンを押して離す操作を「右クリック」と表記しています。
- アイコン、フォルダなどにポインタを合わせ、マウスのボタンを押したまま移動し、目的の位置で離す操作を、「ドラッグ&ドロップ」と表記しています。
- アイコン、フォルダなどにポインタを合わせ、マウスのボタンを押したまま移動する操作を、「ドラッグ」と表記しています。
- ダイアログボックスなどのチェックボックス、オプションボタン(ラジオボタン)にポインタを合わせてクリックし、チェックされた状態にすることを「チェックする」または、「チェックを付ける」と表記しています。
- ダイアログボックスなどのチェックボックス、オプションボタン(ラジオボタン)にポインタを合わせてクリックし、チェックされていない状態にすることを「クリアする」または、「チェックを外す」と表記しています。
- 守っていただきたい内容、気をつけていただきたい内容などは、「お願い」、「お知らせ」として表記しています。

Windows 2000 の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（以下 Windows 2000）













Windows XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system または Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system です。（以下 Windows XP）



Windows Vista の正式名称は、Microsoft® Windows Vista™ Home Basic operating system、Microsoft® Windows Vista™ Home Premium operating system、Microsoft® Windows Vista™ Business operating system、Microsoft® Windows Vista™ Ultimate operating system です。（以下 Windows Vista）

# 使用できるディスクについて

本機では、次のディスクが使用できます。

再生対応ディスクとマーク			
DVD-ROM		DVD-Video*1	
CD-ROM/CD-ROM XA		Video CD*2	
CD-DA (音楽 CD)		CD-EXTRA	
CD TEXT*2		Photo CD*3	

記録・再生対応ディスクとマーク			
DVD-RAM*4		・カートリッジなし ・カートリッジあり (TYPE2、TYPE4 に限ります)	
DVD-R/R DL	 / 	DVD-RW	
+R/R DL	 / 	+RW	 
CD-R		CD-RW	  

\*1 再生可能な DVD-Video は、再生可能地域コード(リージョンコード)  (2 を含むもの)または  の表示があるものです。他の地域コードのものは、リージョンコードの設定変更が必要です。設定変更は 4 回までです。4 回目以降の変更はできません。

\*2 付属アプリケーションを使用することにより、再生が可能です。

\*3 使用時には市販の専用ソフトが別途必要です。

\*4 DVD-RAM ディスクは、カートリッジなしか、カートリッジから取り出し可能な TYPE2 または TYPE4 のものに限ります。(P. 17 ページ)  
RAM2 マークの付いたディスクには対応していません。

## DVD ビデオレコーダーで録画したディスクに関するお知らせ

- 一代だけ録画が許された CPRM で保護された映像の再生には PowerDVD をご使用ください(DVD-MovieAlbum で、保護された映像を扱うには CPRM アップグレードキットの購入が必要です)。
- DVD-R/RW、+R/RW ディスクのコピーは、B's Recorder GOLD のディスクコピーを、DVD-RAM ディスクのコピーは「DVD-MovieAlbum コピーツール」をお使いください(著作権保護が付加されたもののコピーには対応しておりません)。

# 使用できるディスクについて

## 付属アプリケーションと使用ディスクについて

本機付属のアプリケーションと使用できるディスクの関係は以下のようになります。

ディスク	サポート形式 (ディスクフォーマット)	付属のアプリケーション名(バージョン等は省略しています)				
		DVD-RAM ドライブ	B's Recorder GOLD	DVD- MovieAlbum	Power Producer	Power DVD
DVD-RAM	UDF/FAT32	リード/ライト	—	—	—	—
	UDF Bridge* <sup>1</sup>	—	作成	—	—	—
	-VR* <sup>2</sup>	—	—	作成/再生/編集	作成 / 編集	再生
	DVD-Video	—	—	—	—	再生
DVD-R, -R DL, +R, +R DL	UDF Bridge	—	作成	—	—	—
	DVD-Video* <sup>3</sup>	—	—	—	作成	再生
DVD-RW, +RW	UDF Bridge	—	作成	—	—	—
	DVD-Video* <sup>3</sup>	—	—	—	作成	再生
	-VR* <sup>4</sup>	—	—	—	作成 / 編集	再生
	+VR* <sup>4</sup>	—	—	—	作成 / 編集	再生
CD-R	データ CD (ISO 9660)	—	作成	—	—	—
	音楽 CD	—	作成	—	—	再生
	Video CD* <sup>5</sup>	—	作成	—	作成	再生
CD-RW	データ CD (ISO 9660)	—	作成	—	—	—
	音楽 CD	—	作成	—	—	再生
	Video CD* <sup>5</sup>	—	作成	—	作成	再生

すべての装置・再生ソフトでの再生を保証するものではありません。

- \*<sup>1</sup> 本機と B's Recorder GOLD との組み合わせで記録した DVD-RAM ディスクは、B's Recorder GOLD 以外では再生専用メディアとなります。
- \*<sup>2</sup> 本機と PowerProducer の組み合わせで作成した、ビデオレコーディング規格 (以下 -VR 規格と表記します) 準拠 DVD-RAM ディスクは、DVD-RAM 再生に対応した DVD プレーヤーや DVD ビデオレコーダーで再生できます。また、ビデオレコーディング再生のアプリケーションソフトを使うと、DVD-RAM 再生に対応した DVD-ROM ドライブや DVD-RAM ドライブなどでも再生できます。
- \*<sup>3</sup> 本機と PowerProducer の組み合わせで作成した DVD-R/RW, +R/RW ディスクは、DVD ビデオ規格準拠となります。DVD の各ディスク形式に対応した DVD プレーヤーで再生できます。パソコン上では DVD-Video 再生ソフトを使うと、DVD-R/RW や +R/RW 再生に対応したドライブでも再生できます。
- \*<sup>4</sup> 本機と PowerProducer の組み合わせで作成した、DVD-RW/+RW のビデオレコーディング方式 (以下 -VR/+VR 形式と表記します) のディスクは、再生に対応した DVD プレーヤーや DVD ビデオレコーダーで再生できます。また、ビデオレコーディング再生のアプリケーションソフトを使うと、DVD-RW/+RW に対応した DVD-ROM ドライブでも再生できます。DVD-RW には -VR で、+RW には +VR で記録されますが、-VR と +VR の互換性はありません。
- \*<sup>5</sup> 本機と PowerProducer の組み合わせで作成した Video CD 形式の CD-R、CD-RW ディスクは、CD-R、CD-RW ディスクの再生と Video CD (Ver. 2.0) に対応した装置で再生できます。

## ディスクの種類と最大データ転送速度

[DVD メディアの場合]

1 倍速の転送レート = 1350 KB/s

ディスク	記録(書き込み)	再生(読み込み)
DVD-RAM (4.7GB)	5x	5x
DVD-R	8x	8x
DVD-R DL	4x	6x
DVD-RW	6x	
+R	8x	8x
+R DL	4x	6x
+RW		
+RW (High Speed)		
DVD-Video	—	4x
DVD-ROM (Single)	—	8x

[USB2.0 で使用時、詳しくは「仕様」(P.87、88 ページ)を参照]

**DVD-RAM** : 繰り返してデータの記録ができる(リムーバブル)ディスクです。

**DVD-ROM** : 再生専用のディスクです(映像を記録したものが DVD-Video です)。

**DVD-R, +R** : 一度だけ記録が可能なディスクです。

(for Authoring タイプの DVD-R へは記録できません。)

**DVD-R DL, +R DL** : 片面 2 層タイプの一度だけ記録が可能なディスクです。

**DVD-RW, +RW** : 記録したデータの消去や書き込み、書き換えが可能なディスクです。

### ■ DVD-R/RW, +R/RW の記録方式

**ディスク** : データを一度にまとめてディスクに記録する方式です。

**アットワンス** : 追加記録することはできません。

**インクリメンタル** : 「パケット」と呼ばれる単位に分割してデータを記録する方式です。記録するソフトはパケットライトソフトまたは、パケット記録ソフトと呼ばれ、これを使うと、ハードディスクなどと同じような記録が可能となります。

#### DVD-RAM への記録に B's Recorder GOLD を使用すると

エクスプローラー上でのドラッグアンドドロップ操作やアプリケーション上から直接保存などの今までのハードディスクのような使いかたとは別に、DVD-R/RW と同様な記録ができます(2.6 GB ディスクを除く)。

#### 特長

- 記録時にベリファイあり/なしを選択できます。  
ベリファイなしを選択すると、エクスプローラーや他のアプリケーションで記録する場合(ベリファイあり)に比べて約 2 倍の速度で記録できます。
- 追加記録ができます(他のソフトでの追加記録はできません)。

# 使用できるディスクについて

## ディスクの種類と最大データ転送速度

### 【CD メディアの場合】

1 倍速の転送レート = 150 KB/s

ディスク	記録(書き込み)	再生(読み込み)
CD-R	24x	24x
CD-RW	4x	
CD-RW (High Speed)	10x	
CD-RW (Ultra Speed)	16x	
CD-ROM	—	24x

【USB2.0 で使用時、詳しくは「仕様」(87、88 ページ)を参照】

**CD TEXT** : 音楽 CD にタイトルや曲名などの文字情報を記録するフォーマットです。

**Photo CD** : 写真のイメージデータを CD-ROM に記録し、コンピュータで使用したりするためのもので、Kodak 社が開発したフォーマットです。

**Video CD** : 映画などの動画を MPEG1 方式で圧縮して CD に収めたタイトル、またはそのフォーマットのことです。

**CD-ROM** : 再生専用の CD です。

**CD-R** : 一度だけ記録が可能な CD です。記録したデータの消去や書き換えはできません。

記録方式によっては、空き領域に追加記録が可能です。

**CD-RW** : 記録したデータの消去や書き込み、書き換えが可能な CD です。

### ■ CD の対応フォーマット

**CD-DA (音楽 CD)** : 音楽 CD のフォーマットです。

**CD-ROM Mode1** : デジタルデータを記録するためのフォーマットです。

**CD-ROM XA Mode2** : マルチメディアに適したフォーマットで、データと音声・画像を混在させたフォーマットです。

**CD-EXTRA** : 1 つめのセッションにオーディオデータを記録し、2 つめ以降のセッションにデータを記録するフォーマットです。

### ■ CD-R/RW の記録方式

**ディスクアットワンス** : データを一度にまとめてディスクに記録する方式です。追加記録をすることはできません。

**トラックアットワンス** : トラック単位でデータを記録する方式です。ディスクの容量内で、最大 99 回までの追加記録が可能です。

**セッションアットワンス** : セッション単位でデータを記録する方式です。

**マルチセッション** : データの記録単位である「セッション」を複数記録する方式です。

**パケットライト (パケット記録)** : 「パケット」と呼ばれる単位に分割してデータを記録する方式です。記録するソフトはパケットライトソフトまたは、パケット記録ソフトと呼ばれ、これを使うと、ハードディスクなどと同じような記録が可能となります。



## ディスクの取り扱いについて

ディスクは、正しく取り扱いをしないとデータの記録や再生が正常に行われず、データが損なわれたり、ドライブが故障する、などの障害が発生する場合があります。本書および、ご使用のディスクの取扱説明書をよくお読みのうえで使用ください。

### ディスクの取り扱い

- ディスクを長時間直射日光の当たる場所や高温の場所、湿度の高い場所に放置しないでください

ディスクが変形し、データが正常に記録・再生できなくなります。

- ディスクの信号記録面に触れないでください



ディスクが汚れると、データが正常に記録・再生できなくなります。

- 乾いた布などでディスク表面を強くこすらないでください

ディスクが傷ついたり、変形したりすると、データが正常に記録・再生できなくなります。

- ディスクの指定の場所以外に文字を書いたり、ラベルを貼らないでください



ディスクが傷つくと、データが正常に記録・再生できなくなります。

- 文字などを書く場合は、フェルトペンなどペン先の軟らかいものをご使用ください。

- ディスクを薬品や洗剤で拭かないでください

ディスクが傷ついたり、変形したりすると、データが正常に記録・再生できなくなります。

- ディスクを投げたり、曲げたりしないでください

ディスクが傷ついたり、変形したりすると、データが正常に記録・再生できなくなります。

### DVD-RAM ディスクについて

DVD-RAM ディスクは、「記録できる DVD」として、パソコンデータの大容量記録再生を目的に開発されたリムーバブルディスクです。

DVD-RAM ディスクには、以下のタイプがあります。

- カートリッジなし
- TYPE1…カートリッジからのディスクの取り出しはできません。
- TYPE2…片面のディスクで、カートリッジからのディスクの取り出しができます。
- TYPE4…両面 / 片面のディスクで、カートリッジからのディスクの取り出しができます。

本機でご使用いただける DVD-RAM ディスクは、カートリッジなしのタイプです。TYPE2 または TYPE4 の DVD-RAM ディスクは、カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。

# 使用できるディスクについて

## TYPE2、TYPE4 の DVD-RAM ディスクについて

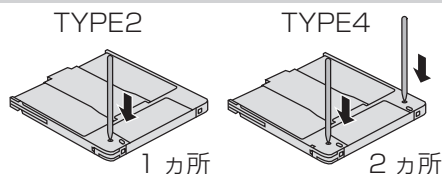
ディスクを取り出すには

カートリッジからのディスクの取り出しは、以下の手順で行います。

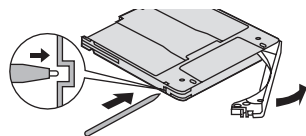
[イラストは松下電器産業(株)製 12 cm DVD-RAM ディスクで説明しています。他社のディスクをご使用の場合は、ディスクの取扱説明書をご覧ください。]

### カートリッジからディスクを取り出すときは

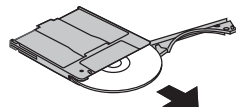
- 1 カートリッジのロックピンを、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って、取り除く



- 2 カートリッジ左手前側面にある開閉用のへこみを、細いもので押さえ、開閉ふたを開ける



- 3 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、ディスクを水平に取り出す



### ディスクを収納するときは

- TYPE2 では、カートリッジのデザイン面とディスクのレーベル面を同じ向きにしてディスクをカートリッジに挿入し、開閉ふたを閉じる位置まで戻します。
- TYPE4 では、カートリッジの A 面とディスクの A 面を同じ向きにしてディスクをカートリッジに挿入し、開閉ふたを閉じる位置まで戻します。
- 開閉ふたを閉じた後にライトプロテクトの設定を確認してください。

### 取り扱い上のお願ひ

ディスクの取り扱い(☞ 17 ページ)と下記内容にお気をつけください。

- 開閉ふたを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。ディスクを取り出したあとのカートリッジには DVD-RAM 以外のディスクを入れて使用しないでください。
- ディスクが汚れた場合は、別売の専用クリーナー\*でクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナーなどは使用しないでください。
- 取り出したディスクは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

\* ディスククリーナーは LF-K200DCJ1 をご使用ください。

本機に装着する DVD-RAM ディスクにフォーマットや記録ができない場合、いくつかの原因が考えられます。詳細は 47 ページをご覧ください。

# システムの必要条件

対応 パソコン* <sup>1</sup>	USB ポートを搭載した DOS/V パソコン
対応 OS* <sup>2</sup>	<ul style="list-style-type: none"><li>●Windows Vista (Home Basic / Home Premium / Business / Ultimate)</li><li>●Windows XP (Professional / Home Edition)</li><li>●Windows 2000 (Professional)</li></ul>

## ■映像系アプリケーション使用時

CPU	Pentium® III 800 MHz 以上 (Right-to-Disc 使用時 : Pentium® 4 2.2 GHz 以上推奨)
メモリー	128 MB 以上(512 MB 以上を推奨)
ハードディスク 空き容量* <sup>3</sup>	550 MB 以上(800 MB 以上を推奨) DVD の作成には 10 GB 以上
グラフィック 環境・その他	1024 × 768 ドット以上、16 ビット色以上 DirectX 対応(DirectX 9.0b 以降が必要) Windows Media Player 対応(Ver. 10 以降が必要) 最初の CPRM 映像再生時にインターネットの接続環境が必要

## ■データ系アプリケーション(記録[書き込み]ソフト)使用時

CPU	Pentium® III 以降(Pentium® III 800 MHz 以上を推奨)
メモリー	128 MB 以上(512 MB 以上を推奨)
ハードディスク 空き容量* <sup>3</sup>	150 MB 以上(800 MB 以上を推奨) DVD の作成には 10 GB 以上
グラフィック 環境	800 × 600 ドット以上、16 ビット色以上 DirectX 対応(DirectX 9.0 以降が必要)

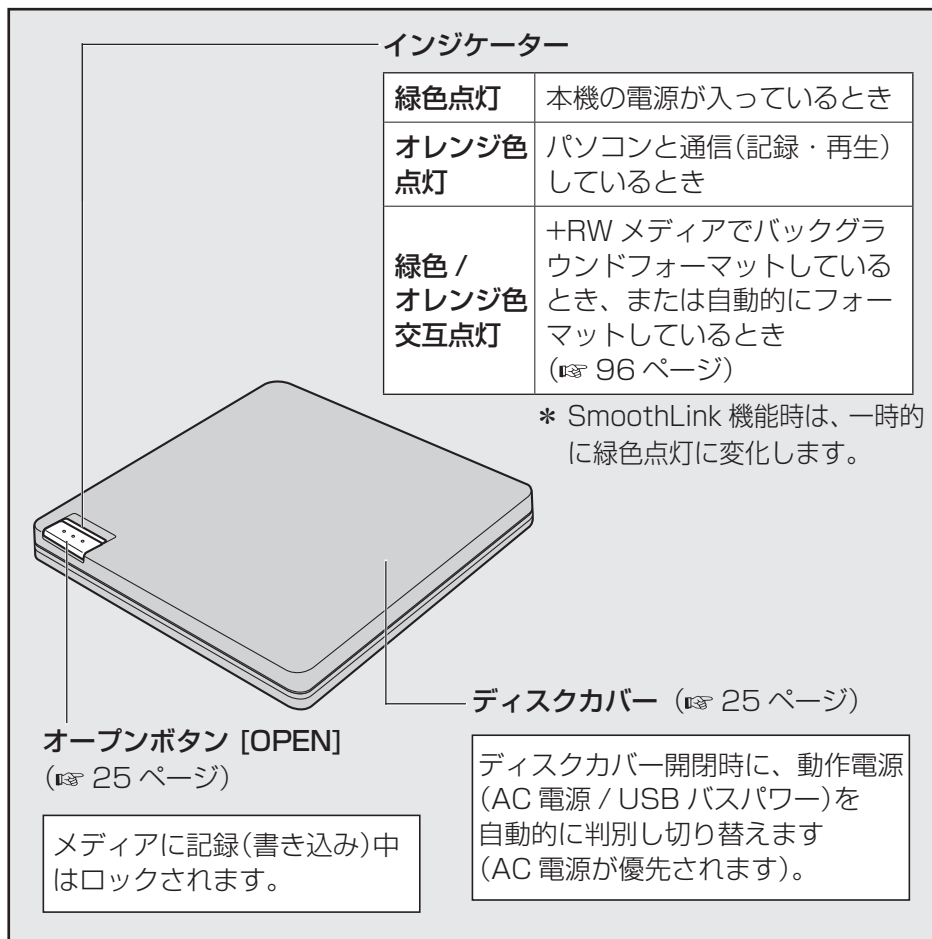
\*<sup>1</sup> USB2.0 でお使いいただくには、パソコンが USB2.0 に対応している必要があります。パソコンが USB2.0 に対応していない場合、本機は USB1.1 接続ドライブとして動作します。  
(USB1.1 接続ではデータ転送速度の制限により、記録・再生に障害が出る場合があります。)

\*<sup>2</sup> サーバー用や 64 ビット OS を除く日本語版に対応。パソコンは各 OS での動作環境が必要です。

\*<sup>3</sup> 安定した記録を行うには、連続した領域を確保してください。

# 各部のなまえとはたらき

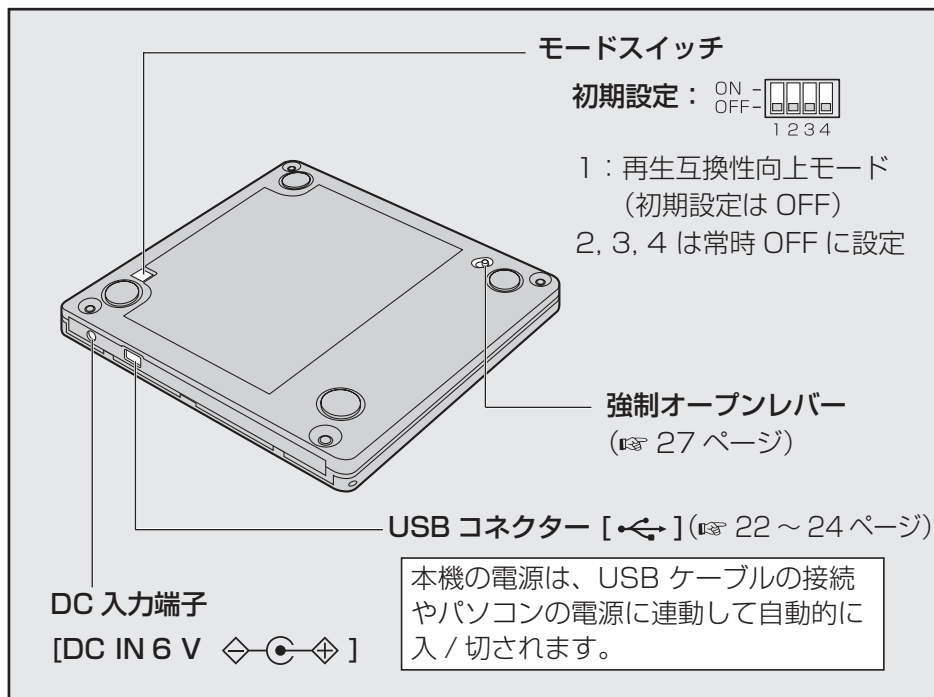
## 前面／天面



### お知らせ

- オープンボタンを押したり、記録が終了した場合などに、ディスクカバーのロックが解除されます。そのまま続けてご使用いただく場合は、ディスクカバーを完全に開けた後でディスクカバーを閉じてください。(☞ 25 ページ)
- 本機の電源が入っていない状態でディスクカバーを開くには、27 ページをご参照ください。

## 裏面／背面



## +R DL 再生互換性の向上<sup>\*1</sup> について

本機裏面のモードスイッチを、再生互換性向上モードに設定して記録することで、+R DL に対応していない DVD ドライブでも +R DL へ記録された映像が再生できるようになります。設定変更は、パソコンから取り外しボールペンの先などで、スイッチの設定を切り替えてください。

スイッチ	設定	内容
1	OFF	+R DL (2 層ディスク) へ記録した映像を、+R DL 対応の DVD ドライブで再生する場合に選択します。
	ON	+R DL 未対応の DVD ドライブで、+R DL に記録した映像を再生したい場合にお試しください。 (ディスクアットワンス方式 <sup>*2</sup> の記録時のみ有効です。)

\*1 すべての DVD ドライブで再生を保証するものではありません。

\*2 作成したデータや映像を、まとめて一度に記録する方式で、追加記録はできません。

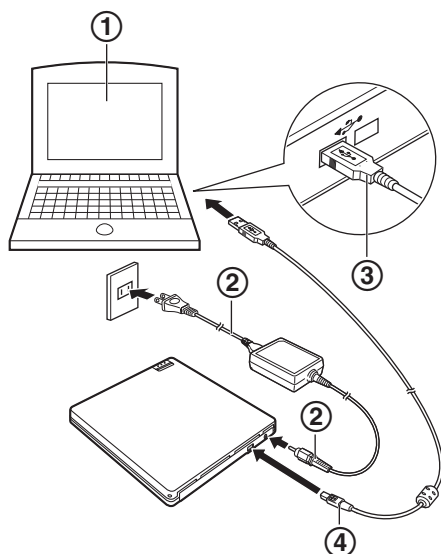
# パソコンに接続する

本機は AC アダプターと USB バスパワーの 2 電源に対応しています。長時間使用される場合は、AC アダプターでのご使用をお勧めします。**接続は確実に行ってください。**

## お願い

- 専用 USB ケーブル以外は使用しないでください。  
(本機やパソコン本体を損傷する恐れがあります。)
- 長時間使用しないときは、節電のため電源コードを電源コンセントから抜いておいてください。[AC アダプターを接続した状態でも、約 1 W の電力を消費しています。(AC 100 V 時)]
- 本機は、パソコンの USB コネクターに直接接続してください。  
USB ハブ経由での接続は動作保証いたしかねます。

## AC 電源で使用する



- ① パソコンを起動する
- ② AC アダプターに電源コードを接続し、本機に接続する
- ③ 専用 USB ケーブルのプラグ (大きい方) をパソコンの USB コネクターに差し込む
- ④ 専用 USB ケーブルのプラグ (小さい方) を、本機の USB コネクターに差し込む

本機の電源が自動的に入り、インジケーターが緑色に点灯します。

## お知らせ

- 本機の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入/切されます。パソコンによっては連動しない場合があります。
- USB ケーブルを抜き差しすることで、本機の電源は自動的に入/切されます。
- 本機は、ディスクカバーの開閉時に、動作電源 (AC 電源 / USB バスパワー) を認識し自動的に切り替えます。

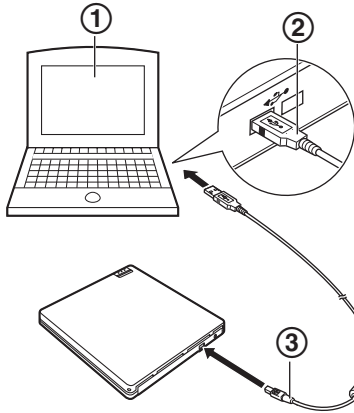
## USB バスパワー(専用 USB ケーブル)で使用する

本機は、パソコンの USB ポートからの電源供給(USB バスパワー)により、AC アダプターなしでも使用することができます。

### お願い

- 本機をパソコンの USB バスパワーで使用する場合、USB バスパワー診断ツールで USB ポートの電源供給能力を確認してください。(☞ 64 ページ)  
USB ポートの電源供給能力によっては、別売品のコンバインケーブル(☞ 4 ページ)が必要な場合があります。
- 本機は、パソコンの USB コネクターに直接接続してください。  
USB ハブ経由での接続は動作保証いたしかねます。
- 本機の電源は、パソコンの電源およびスリープに連動して自動的に入/切されます。パソコンによっては連動しない場合があります、自動的に切れない状態では常時パソコンの電力を消費しますので、専用 USB ケーブルを取り外してください。

接続は確実に行ってください。



① パソコンを起動する

② 専用 USB ケーブルのプラグ(大きい方)をパソコンの USB コネクターに差し込む

③ 専用 USB ケーブルのプラグ(小さい方)を、本機の USB コネクターに差し込む

本機の電源が自動的に入り、インジケーターが緑色に点灯します。

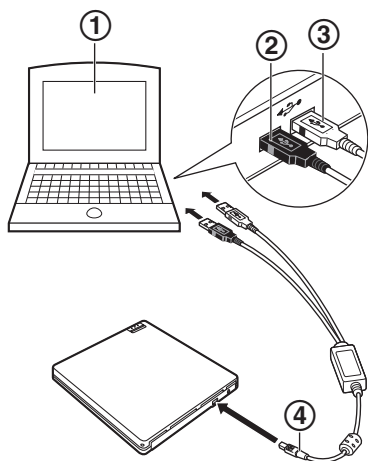
### お知らせ

- PCI ボード・PCMCIA カードをご使用の場合は、AC アダプターでご利用ください。
- USB バスパワーで長時間記録をする場合、パソコンは電源が切れないように AC 電源でのご使用をお勧めします。
- ご使用のパソコンに複数の USB ポートがある場合、ポートによっては USB ポートの電源供給能力に違いがあります。
- USB バスパワーで本機を使用する場合は、本機単独でのご使用をお勧めします。

# パソコンに接続する（別売品での接続）

## USB バスパワー(コンバインケーブル・別売品)で使用する

コンバインケーブルで使用するには、パソコンの USB ポートが 2 つ必要です。接続は確実に行ってください。



- ① パソコンを起動する
- ② コンバインケーブルのプラグ（黒・電源側）を、パソコンの USB コネクタに差し込む
- ③ コンバインケーブルのプラグ（灰色・信号側）を、パソコンの USB コネクタに差し込む
- ④ コンバインケーブルのプラグ（小さい方）を、本機の USB コネクタに差し込む

本機の電源が自動的に入り、インジケータが緑色に点灯します。

### お願い

- 別売のコンバインケーブル以外は使用しないでください。（本機やパソコン本体を損傷する恐れがあります。）
- 本機は、パソコンの USB コネクタに直接接続してください。USB ハブ経由での接続は動作保証いたしかねます。
- 本機の電源は、パソコンの電源およびスリープに連動して自動的に入/切されます。パソコンによっては連動しない場合があり、自動的に切れない状態では常時パソコンの電力を消費しますので、コンバインケーブルを取り外してください。

### お知らせ

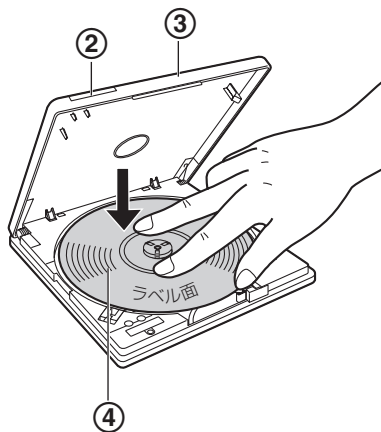
- PCI ボード・PCMCIA カードをご使用の場合は、AC アダプターでご使用ください。
- USB バスパワーで長時間記録をする場合、パソコンは電源が切れないように AC 電源でのご使用をお勧めします。
- ご使用のパソコンに複数の USB ポートがある場合、ポートによっては USB ポートの電源供給能力に違いがあることがあります。
- USB バスパワーで本機を使用する場合は、本機単独でのご使用をお勧めします。



# ディスクを入れる／取り出す

本機は、電動オープン機構になっているため、電源が入っていないときはオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。

## ディスクを入れる



- ① パソコンに本機を接続する(☞ 22 ページ)  
本機の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入／切されます。
- ② オープンボタンを押す  
ディスクカバーが少し開きます。  
(使用中のアプリケーションからディスクの[取り出し]を選択しても、ディスクカバーを開くことができます。)
- ③ ディスクカバーを持ち上げる(開く)
- ④ ディスクを入れる  
ディスクの中心付近をディスクが固定されるまで指で押さえます。
- ⑤ ディスクカバーを閉じる

### お願い

- ディスクは、確実にセットしてください。(確実にセットしないと、ディスクが外れ、傷つくことがあります。)
- 電源が入っていない場合は、ディスクカバーロックを強制解除してください。(☞ 27 ページ)

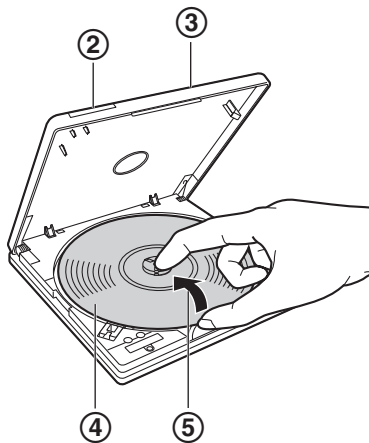
### お知らせ

- オープンボタンを押したり、記録が終了した場合などに、ディスクカバーのロックが解除されます。そのまま続けてご使用いただく場合は、ディスクカバーを完全に開けた後でディスクカバーを閉じてください。
- 本機でご使用いただける DVD-RAM ディスクは、カートリッジなしのタイプです。TYPE2 または TYPE4 の DVD-RAM ディスクは、カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。
- 本機は、ディスクカバーの開閉時に、動作電源(AC 電源／USB バスパワー)を認識し自動的に切り替えます。

# ディスクを入れる／取り出す

本機は、電動オープン機構になっているため、電源が入っていないときはオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。

## ディスクを取り出す



### ① パソコンに本機を接続する(☞ 22 ページ)

本機の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入／切されます。

### ② オープンボタンを押す

ディスクカバーが少し開きます。  
(本機を使用中のアプリケーションからディスクの[取り出し]を選択しても、ディスクカバーを開くことができます。)

### ③ ディスクカバーを持ち上げる(開く)

### ④ ディスクの回転が完全に止まるのを確認する

### ⑤ ディスクを取り出す

中央部分を押さえながら、端の方からつまみあげるようにして、取り出します。

### お願い

- パソコンと接続して使用している場合は、本機を使用しているアプリケーションを必ず終了させた後で、本機のインジケータがオレンジ色点灯または交互点灯していないことをご確認ください。(オレンジ色点灯中は、データ通信中のためディスクカバーを開けないでください。)

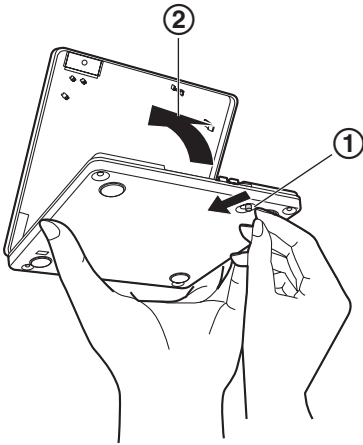
### お知らせ

- 本機付属の「ドライブチェッカー」をインストールすると、ディスクの取り出し忘れを防止したり、取り出し操作を簡単にすることができます。(☞ 61 ページ)
- データ記録中はディスクカバーがロックされますので、オープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。

## ディスクが取り出せないときは

### ■ ディスクカバーロックの強制解除

ディスクにデータ記録中の異常、停電などでオープンボタンを押してもディスクカバーが開かないときや本機の電源が入っていないときは、ディスクカバーロックを強制的に解除し、ディスクカバーを開けることができます。



① 本機裏側の強制オープンレバーをスライドさせる

② ディスクカバーを持ち上げる(開く)

準備

### お願い

- ディスクの回転が止まらないときは、下記の操作を行い完全に回転を止めてください。
    - AC 電源で使用中は、AC アダプターの電源コードをコンセントから抜く
    - USB バスパワーで使用中は、専用 USB ケーブルおよびコンバインケーブルを本機の USB コネクタから抜く
- 回転中にディスクカバーを開けるとディスクが外れることがあります。

# セットアップする前に

## 本機付属のソフトウェア

本製品には、以下のソフトウェアが付属されています。  
付属の CD-ROM からインストールしてご使用ください。  
ドライバーソフトは本機を使用するのに必要なソフトです。必ずインストールしてください。

### ドライバーソフト

はじめにインストールしてください。

#### 1. DVD-RAM ドライバー

DVD-RAM ディスクの記録・再生を行うためのドライバーとユーティリティです。

##### ■ フォーマットソフト(DVDForm)

DVD-RAM ディスクを UDF / FAT32 形式でフォーマットを行うソフトウェアです。

##### ■ DVD-RAM ディスクライトプロテクトツール(WPTool)

DVD-RAM ディスクのライトプロテクト設定・解除を行うソフトウェアです。

### アプリケーション

アプリケーションは必要に応じてインストールしてください。(☞ 49 ページ)

1. ビデオ再生ソフト ..... PowerDVD (CPRM 対応版)
2. DVD-Video 編集ソフト ..... PowerProducer (CPRM 対応版)  
(DVD-RAM、DVD-R/R DL/RW、+R/R DL/RW、CD-R/RW に対応)
3. ライティングソフト ..... B's Recorder GOLD  
(DVD-RAM、DVD-R/R DL/RW、+R/R DL/RW、CD-R/RW に対応)
4. 暗号化ソフト ..... B's File Guard
5. DVD-RAM 対応編集ソフト ..... DVD-MovieAlbum  
(DVD-RAM[-VR]専用)
6. 本機専用ユーティリティソフト ..... ドライブチェッカー

## 本機をご使用いただくための手順とながれ

### お願い

- Windows XP / Windows 2000 にインストールする場合は、必ず管理者権限 (Administrator) のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。

セットアップする前に	参照ページ
● OS (Windows) のバージョンを確認する	30
● パソコンの対応USBを確認する	31
↓	
<b>パソコンへの接続</b>	
1 本機をパソコンに接続する	22
2 CD-ROM をセットする	25
↓	
<b>DVD-RAM ドライバーのインストール</b>	
DVD-RAM ドライバーをインストールする ※ インストール後にパソコンの再起動が必要です。	32
↓	
<b>アプリケーションのインストール</b>	
アプリケーションをインストールする ※ 使用するアプリケーションをインストール後、必要に応じパソコンを再起動してください。	49
↓	
<b>アプリケーションを使う</b>	
アプリケーションのクイックガイドなどを参照ください。	

\* パソコン再起動後は、オープンボタンを押しディスクカバーを完全に開けた後でディスクカバーを閉じてください。CD-ROM が起動しセットアップメニューを表示します。

# セットアップする前に

操作方法の表現は、特に OS 表記がない場合、Windows XP の表現に合わせています。OS が異なる場合は、ご使用の OS 表現に読み替えてください。

## Windows のバージョンを確認する

ご使用パソコンの Windows のバージョンを確認します。

タスクバーから[スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]または[コンピュータ]を右クリックして[プロパティ]をクリックすると、Windows のバージョンが表示されます。

以下の表示があることを確認してください。

OS	表示内容
Windows Vista の場合	Windows Vista Home Basic Windows Vista Home Premium Windows Vista Business Windows Vista Ultimate
Windows XP の場合	Windows XP Professional Version 2002 Service Pack 2 Windows XP Home Edition Version 2002 Service Pack 2
Windows 2000 の場合	Windows 2000 5.00.2195 Service Pack 4

### お願い

#### Service Pack 適用の OS でご使用の場合

上記 Service Pack の表記より古い(数値が小さい)場合は、Microsoft の Windows Update で新しい Service Pack を適用してください。

### お知らせ

- 本機は、サーバー用 OS や Windows 95、Windows 98、Windows 98 SE、Windows NT®、Windows Me、Windows XP Professional x64 Edition、Windows Vista Enterprise、Windows Vista の各 64 ビット版 には対応していません。

## ご使用パソコンの対応 USB を確認する

本機はパソコンの USB2.0 ポートでのご使用を推奨します。

パソコンが USB2.0 に対応していない場合、本機は USB1.1 接続のドライブとして動作します。

USB2.0 で使用するには、市販の USB2.0 インターフェースカードが必要です。

USB のタイプは、ご使用のパソコンの取扱説明書などでお確かめください。

### お知らせ

#### USB1.1 インターフェース環境で接続された場合

- CD メディアへの記録・再生は 4 倍速が限度となります。  
また、DVD メディアの記録・再生は 1 倍速未満の性能となり、記録した画像にリングングやブロックノイズが発生する可能性があります。
- DVD-Video 再生のときも、こま落ちやブロックノイズが発生することがあります。

# セットアップする

## DVD-RAM ドライバーをインストールする

本機をご使用いただくには、DVD-RAM ドライバーのインストールが必要です。本機付属の CD-ROM からインストールしてください。

### お願い

- パソコンは、セットアップ作業中に電源が切れないように AC 電源でご使用ください。

### お知らせ

- 本機付属以外の DVD-RAM ドライバーや UDF ファイルシステム、他社のパケット記録ソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。DVD-RAM ドライバーを他社のパケット記録ソフトと重複してインストールすると、正常に動作しないことがあります。
- Windows XP / Windows 2000 にインストールするには、必ず管理者権限 (Administrator) のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。

## 1 パソコンに本機を接続する

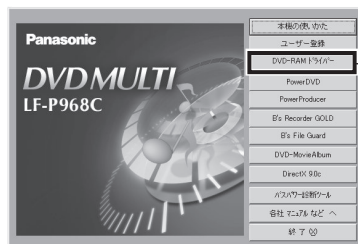
「AC 電源で使用する」(P.22 ページ)をご参照ください。

## 2 付属の CD-ROM を本機にセットする

「ディスクを入れる」(P.25 ページ)をご参照ください。  
自動的に起動しセットアップメニューが表示されます。

### お知らせ

- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM 中の [Asmenu.exe] をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。



DVD-RAM ドライバー

## 3 [DVD-RAM ドライバー]をクリックする

インストール画面が表示されます。

(以降は OS によって操作が異なります。)



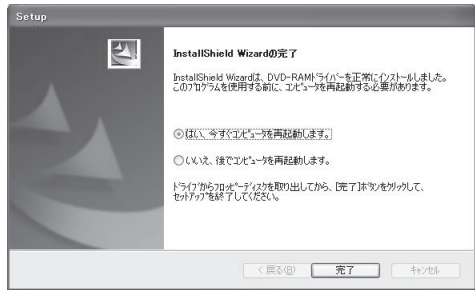
## Windows Vista / Windows XP の場合

### 4 インストール画面が表示されたら[次へ(N)]をクリックする

インストールが開始されます。

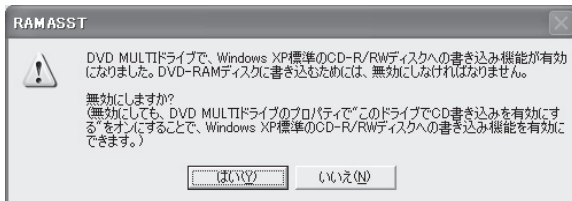
### 5 インストール終了画面が表示されたら[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]にチェックを付け、[完了]をクリックする

パソコンが再起動し、  
DVD-RAM ディスクの記録  
・再生が可能になります。



### お知らせ

- Windows XP で DVD-RAM ディスクをご使用いただくには  
Windows XP をお使いの場合は、Windows XP の書き込み機能は  
使用しない設定にしてください。  
本機では補助ツールで無効にすることができます。有効になった場合は、  
下記画面が表示されますので、[はい(Y)]をクリックしてください。

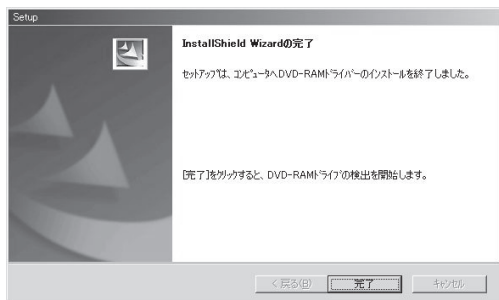


以下の方法でも、変更できます。

タスクバーから[スタート]→[マイコンピュータ]をクリックし、DVD-RAM  
ドライブ(本機)を右クリック、[プロパティ]→[書き込み]をクリックし、  
[このドライブで CD 書き込みを有効にする]のチェックを外します。

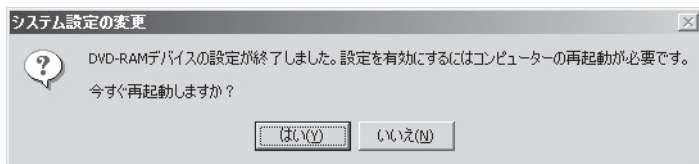
## Windows 2000 の場合

- 4 インストール画面が表示されたら[次へ(N)]をクリックする  
インストールが開始されます。



- 5 インストール終了後[完了]をクリックする

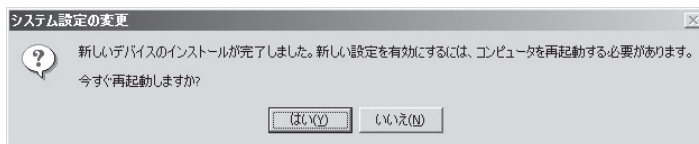
DVD-RAM ドライバの検出とシステムの設定が行われます。



- 6 インストール終了画面が表示されたら[はい(Y)]をクリックする

パソコンが再起動し、DVD-RAM ディスクの記録・再生が可能になります。

再起動後に、下記画面が表示されたら[[はい(Y)]をクリックしてください。



## セットアップを確認する

### 1 パソコンと本機を接続する

「AC 電源で使用する」(☞ 22 ページ)をご参照ください。

### 2 本機にディスクを入れないで、[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックする

本機の接続とドライバーソフトのインストールが正常に行われると、[マイコンピュータ]上にアイコンが追加されます。

#### Windows Vista の場合

(Windows Vista では、1 つのアイコンが追加されます。)



DVD RW ドライブ (D:) DVD-MULTI ドライブ用のアイコン

※ ( )内の表示は、ドライブ接続先によって変わります。

#### Windows XP の場合

(Windows XP では、1 つのアイコンが追加されます。)



DVD-RAM ドライブ (D:) DVD-MULTI ドライブ用のアイコン

※ ( )内の表示は、ドライブ接続先によって変わります。

#### Windows 2000 の場合

(Windows 2000 では、2 つのアイコンが追加されます。)



CD-ROM (D:)

CD-ROM, CD-R/RW, DVD-R/RW, +R/RW,  
DVD-ROM ドライブ用のアイコン



リムーバブル  
ディスク (E:)

DVD-RAM ドライブ用のアイコン

※ ( )内の表示は、ドライブ接続先によって変わります。

# セットアップする

## お知らせ

- 正常に表示されない場合、[表示]メニューの[最新の情報に更新]を選択してください。
- Windows 2000 では、DVD-RAM ドライバーをインストールした後、本機にセットしたディスクの種類によって、操作対象のアイコンが異なります。

# パソコンから取り外す

## Windows の取り外し操作

専用 USB ケーブルおよびコンバインケーブルを取り外す前に、記録(書き込み)ソフトでの記録やデータの再生、音楽再生などの動作を終了し、本機からディスク(メディア)を取り出してください。

本機の取り外しは、パソコン(Windows)側で取り外しの操作をした後に、接続とは逆の順序で行ってください。

「ドライブチェッカー」をインストールすると、ディスクの取り出し忘れを防止したり、取り出し操作を簡単にすることができます。(P. 61 ページ)

### お願い

- インジケーターがオレンジ色点灯中または交互点灯中は、
  - ・ 専用 USB ケーブルおよびコンバインケーブルを抜かないでください。
  - ・ AC アダプターを抜き差ししないでください。  
(データ破壊やパソコンの操作が不能になることがあります。操作が不能になった場合には、パソコンの再起動やリセットを行ってください。)
- USB ケーブルの取り外しは、USB プラグ部分を持って取り外してください(ケーブルを引っ張ると本機やパソコン本体の故障の原因となることがあります)。

## 1 画面右下(タスクトレイ)の[ハードウェアの取り外し]アイコン

 /  をダブルクリックする

[ハードウェアの取り外し]画面が表示されます。

(OSによっては、表現が一部異なる場合がありますので、ご使用の OS の表現に読み替えてください。)

## 2 [USB 大容量記憶装置デバイス]を選択し、[停止]ボタンをクリックする

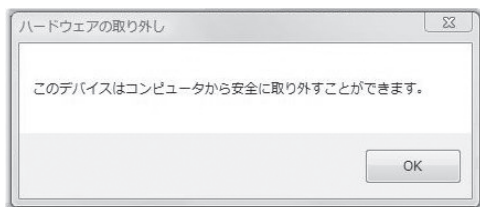
[ハードウェアデバイスの停止]画面が表示されます。

# パソコンから取り外す

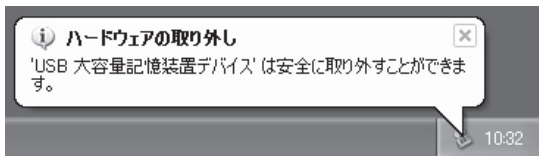
## 3 [MATSHITA DVD-RAM LF-P968 USB Device]が接続されていることを確認し、[OK]をクリックする

以降は画面の指示に従って操作してください。  
専用 USB ケーブルおよびコンバインケーブルを取り外した後に、  
[ハードウェアの取り外し]画面を閉じてください。

### ■ Windows Vista の場合

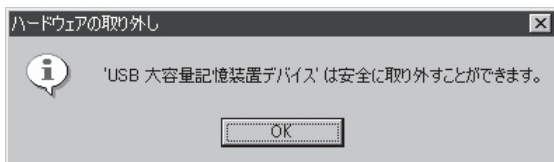


### ■ Windows XP の場合



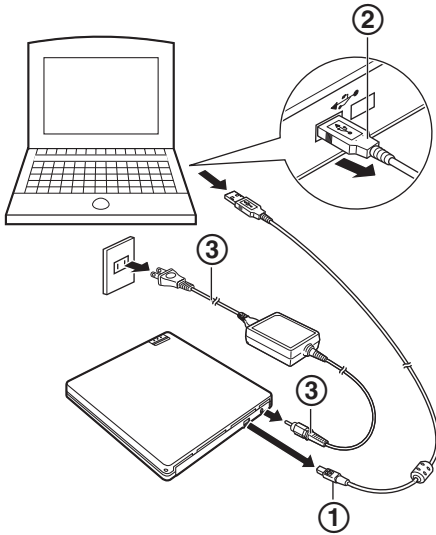
(しばらくすると自動的に消えます)

### ■ Windows 2000 の場合



## 取り外し

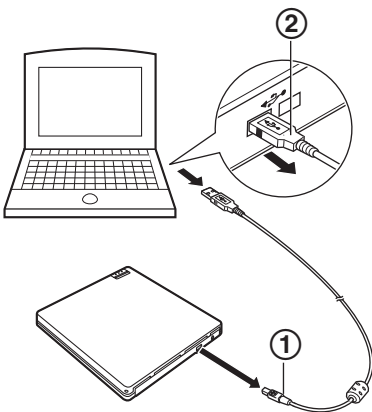
### AC 電源の場合



- ① 本機の USB コネクターから専用 USB ケーブルのプラグ(小さい方)を抜く
- ② パソコンの USB コネクターから専用 USB ケーブルのプラグ(大きい方)を抜く
- ③ AC アダプターの電源コードを抜き、本機から電源プラグを抜く

準備

### USB バスパワーの場合



- ① 本機の USB コネクターから専用 USB ケーブルのプラグ(小さい方)を抜く
  - ② パソコンの USB コネクターから専用 USB ケーブルのプラグ(大きい方)を抜く
- 〔コンバインケーブルの場合は、灰色(信号側)と黒(電源側)の両方を抜く〕

# DVD-RAM ディスクを使う

## DVD-RAM を使う

本機でご使用いただける DVD-RAM ディスクは、カートリッジなしのタイプです。TYPE2 または TYPE4 の DVD-RAM ディスクは、カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。

### お願い

- カートリッジから取り出したディスクの表面は、ごみやほこり、指紋などで汚したり、傷つけたりしないでください。また、落としたり、曲げたり、ラベルを貼らないでください。データの記録・再生ができなくなります。

### お知らせ

- DVD-RAM ディスクの取り出しかたは、製造メーカーによって異なる場合があります。ディスクの取扱説明書をよくお読みください。
- DVD-RAM ディスクの場合、ディスクを認識するまでに時間がかかることがあります。そのような場合は、一度ディスクを取り出してセットし直してください。  
ディスクの状態(記録品質、汚れ、傷など)によっては、正常に記録・再生ができない場合があります。

■ DVD-RAM ディスクにファイルを記録するためには、論理フォーマットをする必要があります。論理フォーマットをした DVD-RAM ディスクは、フロッピーディスクやハードディスクと同じ感覚でファイルを記録することができます。

Windows XP / Windows 2000 では、本機付属のフォーマットソフト (DVDForm) でフォーマットしてご使用ください。

Windows Vista では、OS 標準機能でフォーマットできます。

- DVD-RAM ディスクのフォーマット形式は、UDF と FAT32 の形式がありますので、用途に合わせて使い分けてください。
- 両面タイプの DVD-RAM ディスクの場合は、片面ごとにフォーマットしてください。



## フォーマットする

DVD-RAM ディスクのフォーマット形式は、用途に合わせて使い分けてください。

### UDF(Universal Disk Format)形式

DVD の統一標準フォーマットです。ファイルサイズの大きな(画像、音声データ)記録・再生を高速で行うことができます。

#### ●UDF 1.5

- DVD-RAM の標準フォーマットです。Windows / Mac OS \* などの異なる OS 環境でデータ交換ができます。
- UDF 1.5 形式の DVD-RAM ディスクは、「DVD-VR 規格」準拠の DVD ビデオレコーダーや同規格準拠のパソコン用記録ソフトでは使えません。

#### ●UDF 2.0

- 「DVD-VR 規格」準拠の DVD ビデオレコーダーや同規格準拠のパソコン用記録ソフトで使用するフォーマット形式です。  
DVD ビデオレコーダーや DVD ビデオカメラで使用されるディスクは、このフォーマットを使用してください。

#### ●UDF 2.5

- RAM2(6 ~ 16 倍速の DVD-RAM)や Blu-ray・HD DVD で使用されるフォーマット形式です。  
この形式の DVD-RAM は、「DVD-VR 規格」に準拠した DVD ビデオレコーダーやパソコン用記録ソフトでは使用できません。

### FAT32 形式

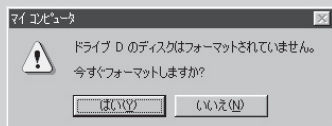
Windows の標準フォーマットで、ハードディスクなどで使用されている論理フォーマットです。

#### ●FAT32

- Windows 95(OSR2) / Windows 98 / Windows Me / Windows 2000 / Windows XP / Windows Vista でサポートされたフォーマットです。
- FAT32 形式の DVD-RAM ディスクは、Windows 95(OSR2 以外) / Windows NT では使用できません。

### お願い

- Windows Me の標準フォーマットソフトで DVD-RAM ディスクをフォーマットしないでください。以下のメッセージが表示されたら [いいえ(N)] を選択してください。



Windows Me に付属の標準フォーマットソフトで DVD-RAM ディスクをフォーマットすると、2 GB を超える FAT 16 形式となり、あとの使用に支障をきたす場合があります。

\* UDF 1.5 形式の DVD-RAM ディスクの記録・再生ができるのは Mac OS 9 です。

# DVD-RAM ディスクを使う

## フォーマットソフト(DVDForm)でフォーマットする

Windows Vista では OS 標準で DVD-RAM に対応しています。  
Windows XP / Windows 2000 ではフォーマットソフトをご使用ください。

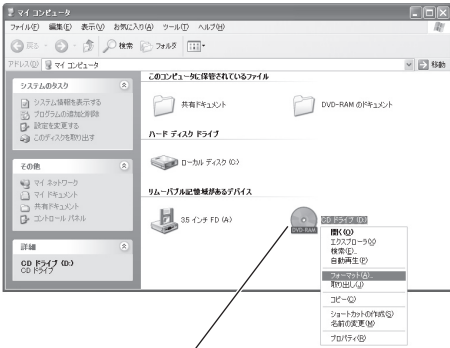
- お願い**
- DVD-RAM ディスクを使用中のすべてのソフトを終了してご使用ください。
  - Windows XP / Windows 2000 では、必ず管理者権限(Administrator)のあるユーザーでログオンしてご使用ください。
  - フォーマットを実行すると、記録されているデータは再生できなくなります。必要に応じて、別のディスクなどにバックアップしておいてください。

- お知らせ**
- 本機では 2.6 GB (片面) DVD-RAM ディスクへのフォーマットおよび記録はできません。

### 1 フォーマットする DVD-RAM ディスクを本機にセットする

### 2 [マイコンピュータ]を開き、本機に割り当てられたアイコン (Windows 2000 では、リムーバブルディスク) を右クリックする

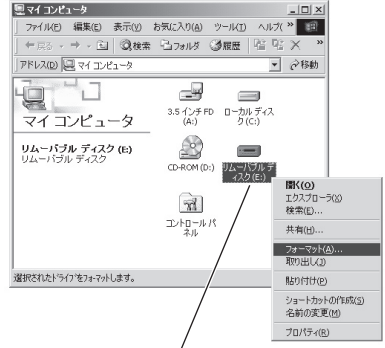
#### Windows XP の場合



本機に割り当てられた「DVD-RAM ドライブ」



#### Windows 2000 の場合



本機に割り当てられた「リムーバブルディスク」

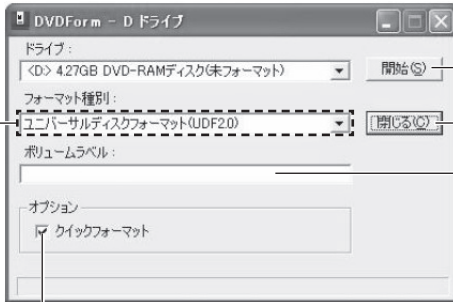


使  
う

- 3** メニュー中の[フォーマット]をクリックする  
DVDForm が起動します。

DVDForm が起動すると下記画面が表示されますので ① ② の順に選択します。

- ①  をクリックし、フォーマット形式を選択します (p. 41 ページ)



③ フォーマットを開始します

DVDForm を終了します

- ② UDF 形式を選択したときは、  
ボリュームラベル名を入力できます  
● 入力しない場合、“UDF + 西暦年 + 月 + 日” が自動的に設定されます。

物理フォーマットをする場合にチェックを外します  
(通常は、そのままでご使用ください)

## お知らせ

### ● 物理フォーマットについて

DVD-RAM ディスク上の全セクターを検査し、不良セクターの代替処理を行います。

(通常は、4.7 GB DVD-RAM ディスクは 1 時間程度で、8 cm DVD-RAM ディスクは 20 分程度で終了しますが、ディスクの状態によっては時間が長くなります。)

## 【推奨フォーマット】

### ■ パソコンのデータ記録で使用するとき

フォーマット種別[ユニバーサルディスクフォーマット(UDF 1.5)]を選択します。

- DVD-RAM ディスクで Windows / Mac OS などの異なる環境でデータ交換ができます。

- 1 フォーマット種別で、  
[ユニバーサルディスクフォーマット  
(UDF 1.5)]を選択する

- 2 ボリュームラベルを入力する

- 3 [開始]をクリックする



# DVD-RAM ディスクを使う

## ■ 映像のデータ記録で使用する時

フォーマット種別[ユニバーサルディスクフォーマット(UDF 2.0)]を選択します。

- DVD-RAM ディスクを「DVD-VR 規格」準拠の DVD ビデオレコーダーや同規格準拠のパソコン用記録ソフトで使用する時、あるいは DVD-RAM を使用する DVD ビデオカメラで使用する時に選択してください。

### 1 フォーマット種別で、 [ユニバーサルディスクフォーマット (UDF 2.0)]を選択する

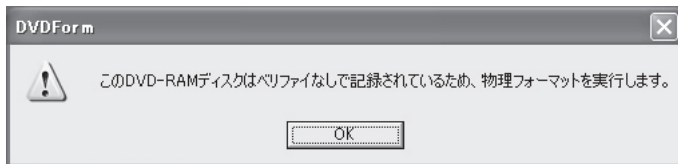


### 2 ボリュームラベルを入力する

### 3 [開始]をクリックする

## お知らせ

- Windows XP の場合、フォーマット後に DVD-RAM のアイコンが CD-ROM のアイコンに変わることがあります。エクスプローラーの[表示]メニューの[最新の情報]を選択して、表示を更新してください。
- B's Recorder GOLD を使ってベリファイなしで記録した DVD-RAM ディスクをフォーマットするとき、下記画面が表示されます。[OK]をクリックして、物理フォーマットを実行してください。



- DVD-RAM ディスクをフォーマットした場合、使用できる空き容量は以下ようになります。

#### UDF フォーマットの場合

片面 1.4 GB (8 cm ディスク) ……………	空き容量	1.3 GB
片面 4.7 GB (12 cm ディスク) ……………	空き容量	4.26 GB

#### FAT32 フォーマットの場合

片面 1.4 GB (8 cm ディスク) ……………	空き容量	1.3 GB
片面 4.7 GB (12 cm ディスク) ……………	空き容量	4.25 GB

## DVD-RAM ディスク ライトプロテクトツールを使う

### DVD-RAM ディスク ライトプロテクトツールについて

本機付属の DVD-RAM ディスク ライトプロテクトツールでソフトウェアでの、ライトプロテクトの設定・解除を行うことができます。カートリッジのない DVD-RAM ディスクでも、ライトプロテクトの設定や解除を行えますので、大切な DVD-RAM ディスクにはライトプロテクトを設定しておくことで、誤操作などでのデータ消去を防止できます。

### ライトプロテクトの設定／解除

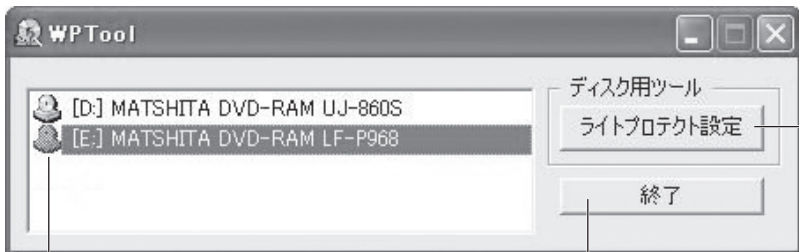
**1** 本機に DVD-RAM ディスクをセットする

**2** タスクバーから[スタート]→[すべてのプログラム]→[Panasonic DVD-RAM]→[DVD-RAM ドライバー]→[WPTool]を選択する

(Windows 2000 では上記の[すべてのプログラム]は[プログラム]と表示されます。)

ライトプロテクト設定／解除ツールが起動します。

**3** ① ② の順に選択する



ツールソフトを終了します

① 本機を選択します

(Windows 2000 では、リムーバブルディスクアイコンの方を選択してください。)

② DVD-RAM ディスクのライトプロテクト設定をクリックします  
(ライトプロテクトの設定／解除画面が表示されます。)

# DVD-RAM ディスクを使う

## ライトプロテクト設定／解除(WPTool)の機能

現在装着中の DVD-RAM ディスクのライトプロテクト状態確認と、設定の変更を行います。

① ② の順に選択し設定します

現在装着中の DVD-RAM ディスクの  
ライトプロテクト状態を表示します

### ① 選択します

#### 【設定する】

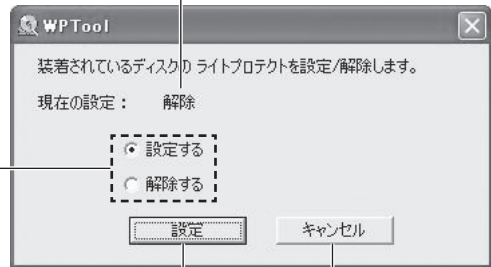
#### ライトプロテクトを設定します

(DVD-RAM ディスクは  
リードオンリー(再生専用)  
になります)

#### 【解除する】

#### ライトプロテクトを解除します

(DVD-RAM ディスクは  
リードライト(記録・再生)と  
も可能になります)



基本画面に戻ります

② 選択したライトプロテクトを設定します  
(設定を DVD-RAM ディスクに保存します)

## ファイルのコピーやフォーマットができないとき

下記の点をお確かめください。その原因と対処方法を以下に示します。

- **ディスクにライトプロテクトが設定されている**  
ライトプロテクトツールを用いて、ディスクのライトプロテクトを解除してください。(☞ 45 ページ)
- **ディスクの汚れなどで記録予備領域(交替領域)を 90 %以上使用し、本機が自動的に書き込み禁止状態になっている**  
再生専用とするか、ディスクに記録されたデータのバックアップをとり、ディスクのお手入れ(☞ 66 ページ)や物理フォーマット(☞ 41 ページ)を行ってご使用ください。
- **記録を未サポートのディスクである**  
本機は 2.6 GB の DVD-RAM ディスクへの記録や RAM2 マークの付いた DVD-RAM ディスクには対応していません。

### DVD ビデオレコーダーで録画された DVD-RAM ディスクについて

「ビデオレコーディング規格」準拠の DVD ビデオレコーダーや DVD ビデオカメラおよび同規格準拠の PowerProducer や DVD-MovieAlbum などのパソコン用記録ソフトで記録された DVD-RAM ディスクには“DVD\_RTAV”フォルダーが作成されます。

パソコンでこのフォルダーやフォルダー内のファイルにアクセスしないでください。このフォルダー内の一部のファイルは 2 GB を超えているものがあり、容量が 2 GB を超えるファイルは、Windows 98 の仕様上の制限により、コピーができなかったり、容量表示が正しく表示されない場合があります。

また、このフォルダーやフォルダー内のファイルを削除、変更すると、DVD ビデオレコーダーやパソコン用記録ソフトで再生ができなくなります。パソコンでこれらのファイルにアクセスするには、PowerProducer や DVD-MovieAlbum をご使用ください。

DVD ビデオレコーダーや PowerProducer や DVD-MovieAlbum で作成した映像ディスクのコピーは、DVD-MovieAlbum に付属のコピーツールをお使いください。

# 各種ディスクを使う

## ■ CD-R、DVD-R/R DL, +R, +R DL ディスクを使う

付属の B's Recorder GOLD(☞ 56 ページ)や PowerProducer (☞ 54 ページ)を使用して、データや音楽ディスク、Video CD などの作成、DVD-Video 形式の記録ができます。

### お知らせ

- 本機は、マルチセッション、マルチボーダーに対応していますので、対応したソフトでは追加記録ができます。

## ■ ビデオを再生する

付属の PowerDVD(☞ 51 ページ)を使用して、DVD-Video や Video CD、DVD-RAM/-RW/-R、(各ディスクでの -VR 規格)、+RW(+VR 形式)などの映像や CPRM で著作権保護された映像の再生ができます。

また、音楽 CD の再生も可能です。

## ■ DVD-ROM / CD-ROM ディスクを使う

DVD/CD-ROM の使用方法については、それぞれのディスク(アプリケーションソフト)に付属の説明書や Readme ファイルなどをご参照ください。



# アプリケーションをインストールする

## ■ アプリケーション

本機には、以下のアプリケーションが付属しています。  
必要に応じてインストールしてください。

- 1. ビデオ再生ソフト …………… PowerDVD (CPRM 対応版)**  
DVD-Video や Video CD、音楽 CD などの再生に対応したマルチメディアプレーヤーで、DVD ビデオレコーダーで録画された CPRM の著作権保護映像にも対応しています (CPRM 映像の再生には、最初にインターネットでの認証が必要です)。
- 2. DVD-Video 編集ソフト …………… PowerProducer (CPRM 対応版)**  
DVD ビデオレコーダーと互換性のあるディスクの作成や、DVD ビデオレコーダーで記録した映像の再生、編集などが行えます。
- 3. 記録ソフト …………… B's Recorder GOLD**  
CD-R/RW、DVD-RAM、DVD-R/R DL/RW、+R/R DL/RW の各種ディスクに対応したライティングソフトウェアで、データの記録から映像や音楽ディスクの作成まで対応した、多彩な記録 (書き込み) ソフトです。  
セキュリティ機能付きの CD・DVD 作成にも対応しました。
- 4. 暗号化ソフト …………… B's File Guard (OEM 版)**  
簡単な操作で、ハードディスクやリムーバブルメディアに保存してあるデータファイルを暗号化し、情報を守ることができます。
- 5. DVD-RAM 対応編集ソフト …… DVD-MovieAlbum**  
DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」に準拠した DVD-RAM ディスクの記録・再生・編集を行うソフトです。
- 6. 本機専用ユーティリティソフト …… ドライブチェッカー**  
ディスクの取り出し忘れを防止したり、ドライブやメディアの情報を表示する本機専用のツールです。

# アプリケーションをインストールする

## ■ アプリケーションの削除について

他社または旧バージョンの記録ソフトや DVD ビデオ再生ソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。

インストールされていない場合は、付属ソフトのインストールにお進みください。

### 1 削除プログラムを起動します

Windows Vista …… [コンピュータ]を開き、[プログラムのアンインストールと変更]をクリックします。

Windows XP …… [スタート]→[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。

Windows 2000 … [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。

### 2 削除ファイルを選択します

Windows Vista …… 表示画面のリストから削除ファイルを選択し、[アンインストール]をクリックします。

Windows XP /

Windows 2000 … 表示画面のリストから削除ファイルを選択し、[変更と削除]ボタンをクリックします。

### 3 以降は画面の指示に従って操作します

プログラム終了後は、必要に応じてパソコンを再起動してください。

# ビデオ再生ソフトのインストール

## ■ 付属のビデオ再生ソフトについて

本機にはビデオ再生ソフトとして、CPRM で著作権保護された映像の再生にも対応した、CyberLink 社製 PowerDVD が付属していますので、付属の CD-ROM からインストールしてください。インストールおよび取り扱いについては、付属のクイックガイドをよくお読みください。

### お願い

- ご使用のパソコンに、旧バージョンのビデオ再生ソフトや他社の同じ機能のソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
- 使用中のアプリケーションおよびウイルス対策などの常駐監視型プログラムがあれば終了してください。

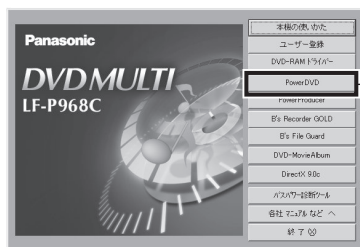
### お知らせ

- Windows XP / Windows 2000 にインストールするには、必ず管理者権限 (Administrator) のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。

## インストールするには


### 1 付属の CD-ROM を本機にセットする

自動的に起動し、セットアップメニューが表示されます。



PowerDVD のインストール

### お知らせ

- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM 中の [Asmenu.exe 

### 2 [PowerDVD] をクリックする

PowerDVD のインストーラーが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

### 3 インストールが終了したら、[終了 (X)] をクリックする

# ビデオ再生ソフトのインストール

## 使用するには

通常は、DVD ビデオをセットするだけで自動的に再生が始まります。  
(自動再生のオプションが オン に設定の場合)







自動的に再生しない場合は、タスクバーから[スタート]→  
[すべてのプログラム]→[CyberLink PowerDVD]→  
[CyberLink PowerDVD]を選択してください。PowerDVD の操作  
パネルは、家庭用ビデオデッキの感覚で操作できます。

### お知らせ

- ビデオ再生ソフトの使用方法については、付属の PowerProducer / PowerDVD クイックガイドまたは、CD-ROM に収録のマニュアルをご参照ください。  
マニュアルを読むには、セットアップメニューから[各社マニュアルなどへ]をクリックし、[PowerDVD ガイド]をクリックしてください。
- DVD ビデオの再生画質は、ディスクやパソコンの能力、使用条件により変化します。
- 最初の CPRM 映像再生時には、インターネットへの接続と認証が必要です。次回の再生からは、インターネットへの接続は不要です。

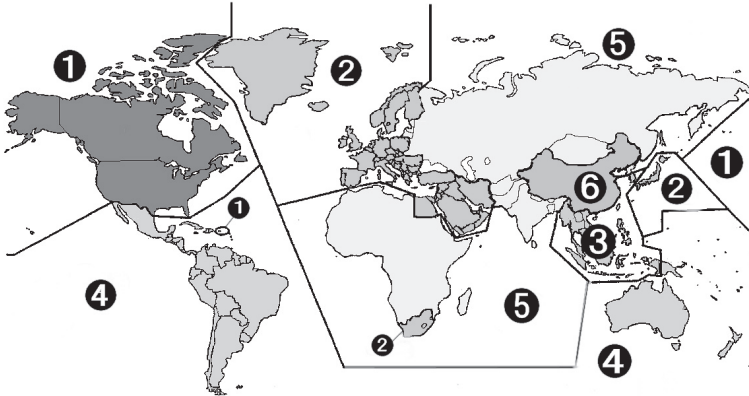
## 機能表示の見かた

市販の DVD ビデオには下記のような表示があります。

機能表示	表示の意味(表示例の内容)
	音声数(3 種類の音声を収録)
	字幕数(1 種類の字幕を収録)
	アングル数(2 種類のアングルを収録)
	収録画面サイズ(ワイド画面で収録)
	再生可能地域コード(日本向け「2」を収録)
	コピープロテクト(著作権保護ありで収録)
片面・1 層ディスク	ディスク形式(片面 1 層構成のディスク)

## ■ 再生可能地域コード(リージョンコード)について

多くの DVD ビデオ(DVD ディスク)は、リージョンコードにより保護されています。リージョンコードは、下図のように地域ごとに管理されています。



DVD ビデオを見るためには、下記のリージョンコードが一致している必要があります。

- DVD ディスクのリージョンコード
- 本機のリージョンコード
- 再生ソフト(PowerDVD)のリージョンコード

異なるリージョンコードの、DVD タイトルを再生しようとした場合は、リージョンコードの設定画面が表示されます。設定内容を確認し[OK]をクリックすれば、再生ソフト(PowerDVD)と、DVD タイトルの再生ドライブ(本機)は、その新しいリージョンコードに設定されます。設定変更後に再生が始まります。

本機出荷時のリージョンコードは **2** に設定されています。

変更は合計 5 回まで行うことが可能ですが、出荷時に 1 回目を使用しますので、変更可能な回数は 4 回までとなります。

### お知らせ

- 4 回目以降は最後に設定したリージョンコードに固定され、変更はできなくなりますので、十分にお気をつけください。  
不正にリージョンコードを改変した場合のトラブルは、お客様の責任となります。

# DVD-Video 編集ソフトのインストール

## ■ 付属の DVD-Video 編集ソフトについて

本機には DVD-Video 編集ソフトとして、9 種類のメディア (CD-R/RW、DVD-RAM、DVD-R/R DL/RW, +R/RW, +R DL) と、CPRM で著作権保護された映像にも対応した CyberLink 社製 PowerProducer が付属していますので、付属の CD-ROM からインストールしてください。インストールおよび取り扱いについては、付属のクイックガイドをよくお読みください。

### お願い

- ご使用のパソコンに、旧バージョンの DVD-Video 編集ソフトや他社の同じ機能のソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
- 使用中のアプリケーションおよびウイルス対策などの常駐監視型プログラムがあれば終了してください。

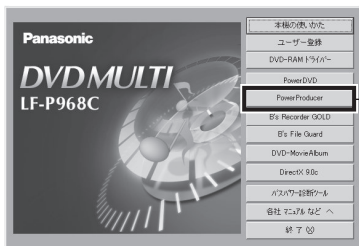
### お知らせ

- Windows XP / Windows 2000 にインストールするには、必ず管理者権限 (Administrator) のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。
- CPRM への対応には、インターネットへの接続と認証が必要です。(一度認証すれば、以降はインターネットへの接続は不要)

## インストールするには


### 1 付属の CD-ROM を本機にセットする

自動的に起動し、セットアップメニューが表示されます。



PowerProducer のインストール

### お知らせ

- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM 中の [Asmenu.exe 

## 2 [PowerProducer]をクリックする

PowerProducer のインストーラーが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

## 3 インストールが終了したら、[終了(X)]をクリックし、パソコンを再起動する

DVD-Video 編集ソフトが使用できるようになります。

### 使用するには

タスクバーから[スタート]→[すべてのプログラム]→  
[CyberLink PowerProducer]→[PowerProducer]を選択してください。

#### お知らせ

- DVD-Video 編集ソフトの使用方法については、付属の PowerProducer / PowerDVD クイックガイドまたは、CD-ROM に収録のマニュアルなどをご参照ください。  
マニュアルを読むには、セットアップメニューから[各社マニュアルなどへ]をクリックし、必要なマニュアルを選択してください。
- PowerProducer は著作権保護が付加されたディスクのコピーには対応していません。
- 本機で作成した DVD-R DL、+R DL のディスクをご使用の場合は、DVD-R DL、+R DL の再生に対応した DVD ビデオレコーダーやプレーヤーをご使用ください。
- PowerProducer で +RW メディアに書き込む場合、インジケータは自動的なフォーマット中は緑色 / オレンジ色の交互点灯し、記録中はオレンジ色点灯に変化します。

## ■ 付属の記録／暗号化ソフトについて

本機には、BHA社製の書き込みソフト B's Recorder GOLD が、暗号化ソフトとして B's File Guard が付属していますので、付属の CD-ROM からインストールしてください。

インストールおよび取り扱いについては、付属のクイックガイドをよくお読みください。

### ● ライティングソフト ..... B's Recorder GOLD

9種類のメディア(CD-R/RW、DVD-RAM、DVD-R/R DL/RW、+R/RW、+R DL)に対応した多彩な機能を持った記録ソフトで、新たにセキュリティ機能の CD/DVD 作成にも対応しています。

#### お願い

- ご使用のパソコンに、旧バージョンまたは他社の同じ機能のソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。(削除方法については、☞ 50 ページをご参照ください。)
- 他社のパッケージ記録ソフトと重複してインストールすると、付属の DVD-RAM ドライバーが正常に動作しない場合があります。
- 記録ソフトのインストールは、DVD-RAM ドライバーのインストールが終了した後で行ってください。(☞ 32 ページ)
- Windows XP で DVD-RAM ディスクをご使用いただく場合は、Windows XP の書き込み機能は使用しない設定にしてください。

### ● 暗号化ソフト ..... B's File Guard (OEM 版)

簡単な操作で、ハードディスクやリムーバブルメディアに保存してあるデータファイルを暗号化し、パスワードを設定するソフトウェアです。正しいパスワードを入力することで、内容を参照することができます。

#### お知らせ

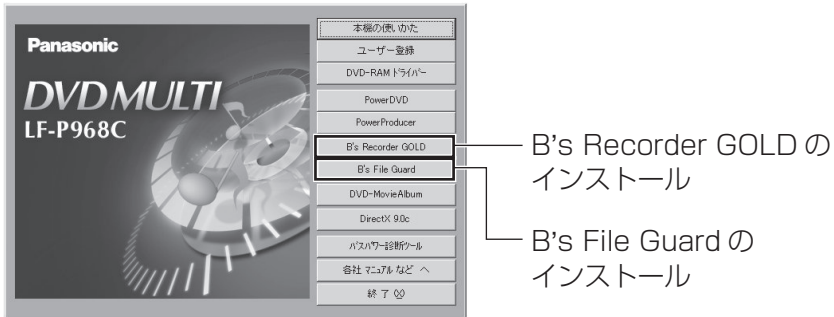
- Windows XP / Windows 2000 にインストールするには、必ず管理者権限(Administrator)のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。




## インストールするには

### 1 付属の CD-ROM を本機にセットする

自動的に起動し、セットアップメニューが表示されます。



#### お知らせ

- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM 中の [Asmenu.exe 

### 2 [B's Recorder GOLD]または[B's File Guard]をクリックする

選択したソフトのインストーラーが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。


### 3 インストールが終了したら、[終了(X)]をクリックし、パソコンを再起動する

記録ソフトまたは暗号化ソフトが使用できるようになります。

## 使用するには

- B's Recorder GOLD を起動するには、デスクトップ上の[B's Recorder GOLD9]アイコンをダブルクリックするか、[スタート]→[すべてのプログラム]→[B.H.A]→[B's Recorder GOLD9]→[B's Recorder GOLD9]を選択してください。

## お願い

- Windows XP をお使いの場合は、Windows XP の書き込み機能は使用しない設定にしてください。  
(タスクバーから[スタート]→[マイコンピュータ]をクリックし、DVD-RAM ドライブ(本機)を右クリック、[プロパティ]→[書き込み]をクリックし、[このドライブで CD 書き込みを有効にする]のチェックを外します)
- B's File Guard を起動するには、対象ファイルを、B's File Guard のアイコン()へドラッグ&ドロップ、または右クリックしてメニューの中の[B's File Guard 暗号化]を選択します。

## お知らせ

- B's Recorder GOLD で +RW メディアに記録する場合、インジケータは自動的なフォーマット中は緑色 / オレンジ色の交互点灯し、記録中はオレンジ色点灯に変化します。
- 各ソフトの使用方法については、付属の B's Recorder GOLD / B's File Guard クイックガイドまたは、CD-ROM に収録の PDF などのマニュアルをご参照ください。マニュアルを読むには、セットアップメニューから[各社マニュアルなど へ]をクリックし、必要なマニュアルを選択してください。

## ■ 「B's Recorder GOLD/B's CLiP」について

インターネットのホームページより、「B's Recorder GOLD」などのバージョンアップなどの最新情報を入手できます。(☎ 81 ページ)  
また、ドラッグ & ドロップ操作で CD/DVD メディアにデータが保存できるパケットライトソフトは「B's CLiP」をご使用ください。  
「B's CLiP」はホームページの Web 販売より購入できます。(☎ 81 ページ)

# DVD-RAM 対応編集ソフトのインストール

## ■ 付属の DVD-RAM 対応編集ソフトについて

本機には DVD-RAM 対応編集ソフトとして、松下電器産業(株)製 DVD-MovieAlbum が付属していますので、付属の CD-ROM からインストールしてください。インストールおよび取り扱いについては、付属のクイックガイドをよくお読みください。

本ソフトは DVD-RAM 専用です。

### お願い

- ご使用のパソコンに、旧バージョンの DVD-RAM 対応編集ソフトや他社の同じ機能のソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
- 使用中のアプリケーションおよびウイルス対策などの常駐監視型プログラムがあれば終了してください。

### お知らせ

- Windows XP / Windows 2000 にインストールするには、必ず管理者権限(Administrator)のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。

## インストールするには


### 1 付属の CD-ROM を本機にセットする

自動的に起動し、セットアップメニューが表示されます。



DVD-MovieAlbum のインストール

### お知らせ

- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM の中の [Asmenu.exe 

# DVD-RAM 対応編集ソフトのインストール

## 2 [DVD-MovieAlbum]をクリックする

DVD-MovieAlbum のインストーラーが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

## 3 インストールが終了したら、[終了(X)]をクリックし、パソコンを再起動する

DVD-RAM 対応編集ソフトが使用できるようになります。

### 使用するには

タスクバーから[スタート]→[すべてのプログラム]→[Panasonic]→[DVD-MovieAlbumSE]→[DVD-MovieAlbumSE]を選択してください。

#### お知らせ

- DVD-RAM 対応編集ソフトの使用方法については、付属の DVD-MovieAlbum クイックガイドまたは、CD-ROM に収録のマニュアルをご参照ください。  
マニュアルを読むには、セットアップメニューから[各社マニュアルなどへ]をクリックし、必要なマニュアルを選択してください。
- DVD-MovieAlbum は DVD-RAM 専用です。  
VR フォーマットで記録され、ファイナライズされた DVD-R/RW の読み込みには対応していますが、+R/RW (+VR)には対応していません。
- DVD-MovieAlbum は CPRM で著作権保護された映像の再生・編集や著作権保護が付加されたディスクのコピーには対応していません。  
CPRM で著作権保護された映像を扱うには、CPRM アップグレードキットの購入が必要です。

# 本機専用ユーティリティソフトのインストール

## ■ 付属の本機専用ユーティリティソフトについて

本機にはユーティリティソフトとして、ドライブチェッカーを付属しています。Windows 終了時の、ディスクの取り出し忘れを防止したり、ドライブやメディアの情報などを表示する、本機専用のツールです。付属の CD-ROM からインストールしてください。

### お願い

- 使用中のアプリケーションおよびウイルス対策などの常駐監視型プログラムがあれば終了してください。

### お知らせ

- Windows XP / Windows 2000 にインストールするには、必ず管理者権限 (Administrator) のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。

## インストールするには

### 1 付属の CD-ROM を本機にセットする

自動的に起動し、セットアップメニューが表示されます。

[各社マニュアルなど へ] をクリックします



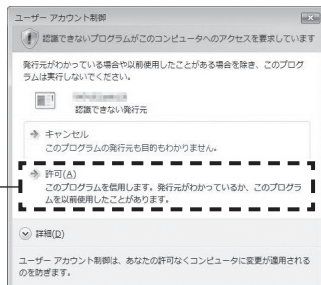
### お知らせ

- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM 中の [Asmenu.exe] をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。

### 2 [ドライブチェッカー インストール] をクリックする


Windows Vista でユーザーアカウント制御の画面が表示されたら [許可] を選択します

### 3 インストールが終了したら、[終了(X)] をクリックし、パソコンを再起動する



# 本機専用ユーティリティソフトのインストール



## 使用するには

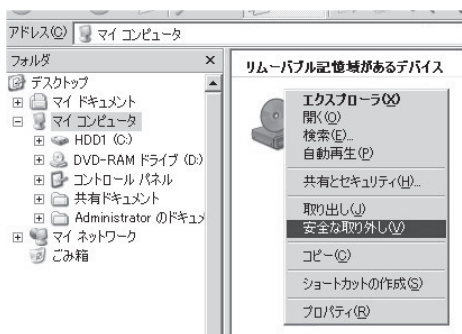
インストールしパソコンを再起動すると、画面右下のタスクトレイにドライブチェッカーのアイコン  が表示されます。(インストール後はタスクトレイに常駐します。)

インストールした後は以下の手順で、本機の取り外し操作が可能になります。

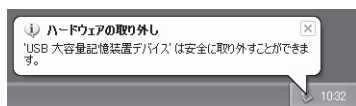
## 取り外し操作

ドライブチェッカーの常駐を解除しても本機能は使用できます。

- ① マイコンピュータを開きます(操作例: キーボードの  と  キーを押します)
- ② マイコンピュータに表示された本機のドライブアイコンを右クリックし [安全な取り外し] を選択します  
(取り外し画面が表示されたら本機を取り外し、画面を終了します)

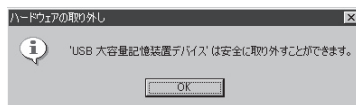


## 取り外し画面 Windows XP の場合



(しばらくすると自動的に消えます)

## Windows 2000 の場合




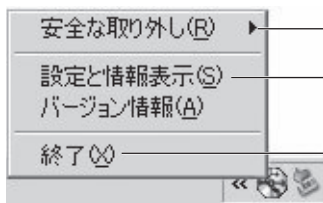
## お知らせ

- Windows Vista では OS の標準機能として、上記と同じ操作でドライブを取り外すことができます。

## ドライブチェッカーの操作

ドライブチェッカーは以下の手順で、ご使用ください。

- ① タスクトレイのドライブチェッカーのアイコン  を右クリックします




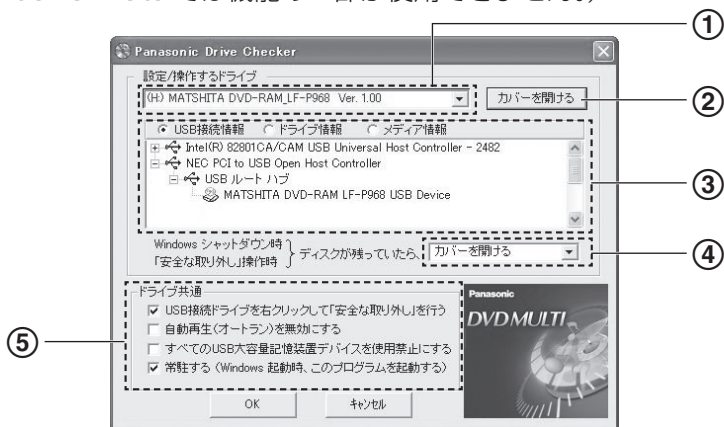
ここからも取り外し操作ができます。

ドライブチェッカーの設定と情報表示を行います。(詳細は次ページ参照)

ドライブチェッカーを一時的に終了します。  
(常駐を解除するには、設定を変更してください。)

## ■ 設定と各種情報の表示について

[設定と情報表示]を選択するか、ドライブチェッカーのアイコン  をダブルクリックすると以下の画面が表示されます。  
(機能の詳細は付属 CD-ROM に収録のマニュアルをご覧ください。また、Windows Vista では機能の一部が使用できません。)



### ① ドライブの選択

対象のドライブを選択します。

### ② [カバーを開ける]ボタン

ボタンをクリックするとディスクカバーが開きます。

### ③ 各種情報の表示

下記項目を選択し表示をクリックすると各種情報を表示します。

#### • USB 接続情報

パソコンへの USB 機器の接続状態を表示します。

#### • ドライブ情報

接続されているドライブの各種情報を表示します。

#### • メディア情報

ドライブに入っているメディアの情報を表示します。

### ④ 自動ディスクカバーオープン機能の設定

ドライブにディスクが残っていた場合の動作を設定します

### ⑤ ドライブチェッカーの設定

ドライブチェッカーの起動時における各種設定を行います。  
チェックボックスで選択してください。

(常駐を解除するには「常駐する」表示のチェックを外し[OK]をクリックします。)

# USB バスパワー診断ツールを使う

本機は AC アダプターでの使用以外に、パソコンの USB バスパワーでも使用できます。USB バスパワーで本機を使用する場合は、付属 CD-ROM の USB バスパワー診断ツールで USB ポートの電源供給能力を確認してください。

## お願い

- Windows XP / Windows 2000 で USB バスパワー診断ツールを使用するには、必ず管理者権限 (Administrator) のあるユーザーでログオンしてください。
- USB バスパワー診断ツール使用時、パソコン上で他の操作をしないでください。
- 他のストレージ USB 機器 (USB マウス、USB キーボードなどは除く) を同時に使用される場合、USB バスパワー診断ツールの結果にかかわらず AC アダプターを接続した状態でご使用ください。

## お知らせ

- USB ポートの電源供給能力によっては、USB バスパワーでの動作ができない場合があります。
- ご使用のパソコンに複数の USB ポートがある場合、ポートによっては USB ポートの電源供給能力に違いがあることがあります。
- コンバインケーブルを使用するには USB ポートが 2 つ必要です。
- USB バスパワーで本機を使用する場合は、本機単独でのご使用をお勧めします。
- USB バスパワー診断ツール実行中にディスクカバーが開けられたり、ケーブルが取り外されたりした場合、診断ツールは終了します。
- パソコンによっては USB バスパワー診断ツールを使用した後で、パソコンの再起動が必要な場合があります。



# USB バスパワー診断ツールを使う

AC アダプターを接続し、専用 USB ケーブルを使ってパソコンと本機を接続しておいてください。

〔「AC 電源で使用する」(☞ 22 ページ)をご参照ください。〕

## 1 付属の CD-ROM を本機にセットする

自動的に起動しセットアップメニューが表示されます。

## 2 [バスパワー診断ツール]をクリックする

(USB バスパワー診断ツールが起動しますので、表示を確認し [はい] をクリックしてください。)

## 3 画面の指示に従って操作します

(『本機から AC アダプターを抜いてください。』と表示されたら、AC アダプターを抜き、[テスト] をクリックしてください。)

## 4 テストが終了すると診断結果が表示されます

■『接続されたケーブルで使用可能です。』と表示されたら、そのまま USB バスパワーでご使用いただけます。  
[終了] をクリックしてください。

■『接続されたケーブルでは使用できません。』と表示されたら、AC アダプターでご使用いただくか、別売品のコンバインケーブル (☞ 4、24 ページ) をご使用ください。  
[終了] をクリックしてケーブルを取り外し、パソコンを再起動してください。

### お知らせ

- コンバインケーブルでの動作検証状況は、下記の DVD マルチホームページよりお確かめください。

<http://panasonic.jp/p3/pro/lfp968c.html>

# お手入れ

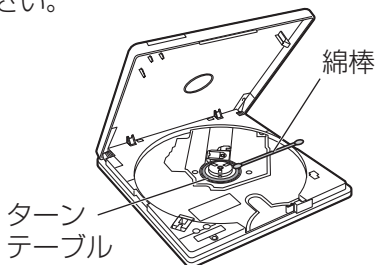
## ■本体表面が汚れたら

柔らかい布でふいてください。



## ■ターンテーブルが汚れていたら

ターンテーブル(黒い部分)を綿棒(市販品)で円周状に軽くふいてください。



レンズにはふれないでください。

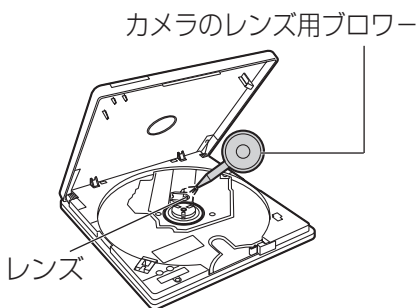
## ■ディスクが汚れていたら

柔らかい布で、内側から外側へ放射状に軽くふいてください。



## ■レンズが汚れていたら

レンズをカメラのレンズ用ブロー(市販品)でお手入れしてください。



ディスクタイプのレンズクリーナーのご使用は、故障の原因となる場合があります。

### お願い

- レコードクリーナー、静電防止スプレーや薬剤(ベンジン、シンナー、アルコールなど)は使わないでください。変形、変色の原因になります。
- DVD-RAM ディスクには、ディスククリーナー LF-K200DCJ1 をご使用ください。

# 故障かな!? と思ったら

まず、次の表に従って確認してください。それでも直らないときは、「保証とアフターサービス」(☞ 82 ページ)をご参照ください。

こんなときには	ここをお調べください
1 本機がパソコンに認識されない、または正常に動作しない	<b>AC アダプターが正しく接続されていますか?</b> AC アダプターの保護機能が働いている場合があります。AC アダプターの電源コードをコンセントから抜き、2～3分放置後再度コンセントに差し込んでください。
	<b>ケーブルが正しく接続されていますか?</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 正しく接続されているかご確認ください。 ☞ 22 ページ</li></ul>
	<b>USB バスパワーでご使用ですか?</b> USB バスパワーでご使用の場合は、USB バスパワー診断ツールで USB ポートの電源供給能力を確認してください。☞ 64 ページ <ul style="list-style-type: none"><li>● USB ポートによっては電源供給能力が異なる場合があります。ポートを変えてお試しください。</li></ul>
	<b>パソコンへのセットアップを行いましたか?</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● パソコンのセットアップ(DVD-RAM ドライバーのインストール)を行ってください。☞ 32 ページ</li><li>● インターフェースカードをご使用の場合は、各社の最新ドライバーをご使用ください。</li></ul>
	<b>正常なケーブルの取り外しをしましたか?</b> 本書記載の手順(☞ 37 ページ)に従わなかった場合、ドライブアイコンが見えなくなる場合があります。パソコンを再起動してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● Windows 上で取り外し操作を行った後は、USB ケーブルの抜き差しが必要です。抜き差しを行わないとドライブが正常に認識されません。</li></ul>

(次ページに続きます。)

こんなときには

ここをお調べください

本機がパソコンに認識されない、または正常に動作しない

ケーブルのピンが曲がったり、折れたりしていませんか？

お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。☎ 83 ページ

本機の電源が切れていませんか？

パソコンを再起動してください。

使用 OS が合っていますか？

Windows Vista / Windows XP / Windows 2000 で動作します。

デバイスマネージャでドライバーが正しく組み込まれているか確認してください。

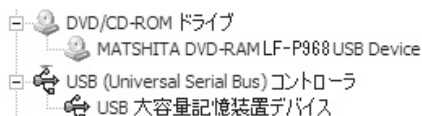
(OS によっては、表現が一部異なる場合がありますので、ご使用 OS の表現に読み替えてください。)

**1** [スタート]→[マイコンピュータ]を  
右クリック→[プロパティ]を選択する

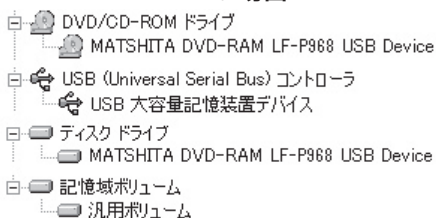
**2** [ハードウェア]→[デバイスマネージャ]→  
[表示]→[デバイス(種類別)]を選択する

インストール後、本機がパソコンに接続されると以下のように表示されます。

### ●Windows XP の場合



### ●Windows 2000 の場合



こんなときには

ここをお調べください

2

DVD-RAM  
ディスクが認識  
されない  
記録できない

DVD-RAM ドライバーはインストールされていますか？

Windows 2000 では、DVD-RAM ドライバーがインストールされていない場合、CD-ROM として認識されています。DVD-RAM ドライバーを必ずインストールしてください。☞ 32 ページ

正しいドライブアイコンにアクセスしていますか？

Windows 2000 では、ドライブアイコンが 2 つ表示されますので、使用するディスクに合わせて選択してください。☞ 35 ページ

ディスクにライトプロテクトが設定されていませんか？

ライトプロテクトの設定をご確認ください。  
☞ 45 ページ

フォーマットされていますか？

- 目的に適したフォーマットを選択してください。  
☞ 41 ページ
- B's Recorder GOLD でご使用の場合、ディスク (メディア) を消去してご使用ください。
- DVD-MovieAlbum でご使用の場合、UDF 2.0 でフォーマットしたものをご使用ください。

本機が対応しているディスクをお使いですか？

2.6 GB ディスクへの記録には対応していません。  
RAM2 マークの付いたディスクには対応していません。  
☞ 87 ページ

(次ページに続きます。)

# 故障かな!? と思ったら

こんなときには

ここをお調べください

2

DVD-RAM  
ディスクが認識  
されない  
記録できない

ディスクが汚れたり傷ついたりしていませんか？

ディスクが汚れたり傷ついたりすると、記録・再生ができません。

- お手入れしてください。☞ 17、66 ページ
- 「ファイルのコピーやフォーマットができないとき」をご参照ください。☞ 47 ページ

再生専用のディスクをお使いになっていませんか？

- 本機と B's Recorder GOLD との組み合わせで記録した DVD-RAM ディスクは、再生専用ディスク(メディア)となります。

3

ディスクが取り  
出せない  
(ディスクカバー  
が開かない)

本機が動作中になっていませんか？

- ディスクにデータの記録中はオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。記録が終了するのをお待ちください。
- DVD-MovieAlbum で本機を使用している場合は、DVD-MovieAlbum を終了してください。
- ディスクの[取り出し]を選択してもディスクカバーが開かない場合は、強制オープンレバーを操作してください。☞ 27 ページ

4

本機、AC アダ  
プターなどが  
温かい

故障ではありません。

異常に高温になる場合は、AC アダプターの電源コードを外し、お買い上げの販売店または修理

☞ 83 ページ、裏表紙

こんなときには

ここをお調べください

5

正常な記録が  
できないご使用のメディアや記録(書き込み)方式は正しい  
ですか?

- Windows XP をお使いの場合は、Windows XP の記録(書き込み)機能は使用しない設定にしてください。
- 「こんな疑問や質問があったら」(☞ 73 ページ) および記録(書き込み)ソフトの説明書をご参照ください。

6

ディスクを  
入れたのに  
音とびしたり、  
データの記録・  
再生ができないラベル面を上にして、ディスクを入れていますか?  
ディスクの向きをご確認ください。☞ 25 ページディスクまたは本機のレンズが汚れていませんか?  
お手入れしてください。☞ 66 ページ

ディスクに傷がありませんか?

本機に異常がないことを確かめるために、別の  
ディスクに取り替えてみてください。ゴミが本機のターンテーブルの上に付着していま  
せんか?

お手入れしてください。☞ 66 ページ

本機やディスクが結露していませんか?

ディスクを取り出して約 1 時間放置してください。

本機対応のディスクを使用していますか?

お使いのディスク(メディア)をご確認ください。  
☞ 13、86、87 ページ

# 故障かな!? と思ったら

こんなときには

ここをお調べください

## 7 音が聞こえない

パソコンの音楽 CD 再生ソフトを使って本機で音楽 CD を再生する場合は、デジタル再生を「有効」に設定する必要があります。

デジタル再生は「有効」に設定されていますか

お使いのパソコンの取扱説明書をご参照のうえ、デジタル再生を「有効」に設定してください。

パソコン側の音量ボリュームを下げすぎていませんか？  
また、音量ボリュームの設定が「ミュート」になっていませんか？

パソコン側の音量ボリュームを調整してください。

## 8

DVD-R/R DL、  
+R、+R DL、  
DVD-RW、  
+RW ディスク  
が再生できない

ご使用の DVD ディスク(メディア)の形式や記録(書き込み)方式は正しいですか？

- 本機で使用できるディスク(メディア)記録方式は、下記ページをご参照ください。

- ☞ 13 ~ 15、48、87 ページ

- B's Recorder GOLD で追加記録した DVD-R/R DL、+R、+R DL ディスクは、Windows Vista / Windows XP / Windows 2000(SP3 以降)以外では、追加したデータは読めません。



# こんな疑問や質問があったら

本機についての疑問は、「故障かな!? と思ったら」を先にお読みください。  
(☞ 67 ページ)

## ■ 記録(書き込み)について

**Q** 記録途中で失敗してしまうのですが、どうしたらいいですか？

**A** メディアへ記録するためのデータがパソコンから送られてくるときに、そのデータが途中で途切れたりすると記録(書き込み)が失敗してしまう場合があります。

下記内容をお確かめください。

- 記録速度を変えてみる。(低速にする)  
パソコンの使用環境によっても使用可能な記録速度が変わる場合があります。
- ハードディスクのメンテナンスを行う。  
(スキャンディスクの後にデフラグを行ってください。)
- サスペンド/レジューム機能が働かないようにする。
- 常駐ソフトやその他のプログラムを終了する。
- スクリーンセーバーを止める。
- Active Desktop を止める。
- ネットワーク接続をしない。

記録(書き込み)ソフトによっては、SmoothLink機能を個別に設定できるものがあります(B's Recorder GOLD など)。

SmoothLink 機能が有効に設定されているかお確かめください。

## こんな疑問や質問があったら

**Q** 記録に失敗するのですが？

**A** 本機の推奨メディアをご使用ください。合わせてご使用のメディアと記録速度をお確かめください。

- ディスク(メディア)は本機の推奨品をご使用ください。(P. 86 ページ)
- 記録速度については、「ディスクの種類と最大データ転送速度」をご参照ください。(P. 15、16、87、88 ページ)

**Q** 記録に時間がかかるのですが？

**A** BIOS で USB 1.1 / USB 2.0 の設定を切り替えて使用するパソコンがあります。パソコンの取扱説明書をご参照のうえ、USB 2.0 でご使用ください。

**A** ご使用のメディアによっては、指定の記録速度で記録できない場合があります。

**Q** 記録前と後ではデータのサイズが違うのですが？

**A** ディスク(メディア)とハードディスクなどのセクタサイズが違うことが原因です。そのため、ディスク(メディア)に記録したときは、ハードディスクなどに格納されたデータサイズより若干大きくなります。また、記録(書き込み)モードによっては、記録するデータのほかに情報エリア分の領域も使用します。

**Q** オリジナルのベスト版音楽 CD を作成したいのですが？

**A** それぞれの音楽 CD から WAV ファイルとしてハードディスクに取り込み、それを付属の記録(書き込み)ソフトを使って記録します。詳しくは、付属の記録(書き込み)ソフトのマニュアルをご参照ください。

**Q** 複数のドライブ、または複数の記録(書き込み)ソフトを使用して追記できますか？

**A** 同じドライブ、同じソフトで記録するようにしてください。  
追記する前のデータが読めなくなったり、本機およびその他のドライブでデータの再生・記録が正常にできなくなる場合があります。

**Q** パソコンにいくつもの記録(書き込み)ソフトをインストールしたままで記録できますか？

**A** 以下の場合、正常に記録できないことがあります。

- 複数の記録(書き込み)ソフトが同時に起動されている。  
〔常駐するタイプの記録(書き込み)ソフト含む〕
- バージョンの違う記録(書き込み)ソフトがインストールされている。

**Q** パソコンの BIOS 設定を変更する必要がありますか？

**A** BIOS で USB 1.1/USB 2.0 の設定を切り替えて使用するパソコンがあります。  
パソコンの取扱説明書をご参照のうえ、USB 2.0 でご使用ください。

**Q** パソコン内蔵ドライブから、音楽データ(CD-DA 形式)などをオンザフライで記録ができません

**A** パソコン内蔵の CD-ROM ドライブでは、音楽データ(CD-DA 形式)などを高速再生できないものがあります。

- 本機を使用して、パソコンのハードディスクドライブにデータを取り込んで、記録(書き込み)を行ってください。詳しくは、記録(書き込み)ソフトのマニュアルをご参照ください。
- ハードディスクのメンテナンスを行ってください。(スキャンディスクの後にデフラグを行ってください。)
- 記録(書き込み)ソフトの SmoothLink 機能が ON に設定されているかご確認ください。(インストール直後は、ON に設定されています。)

## ■ 再生(読み込み)について

**Q** 最高速で再生できないのですが？

**A** USB2.0 に設定されているかご確認ください。

デバイスマネージャでドライバーが正しく組み込まれているか確認してください。

(OS によっては、表現が一部異なる場合がありますので、ご使用の OS の表現に読み替えてください。)

**1** [スタート]→[マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]を選択する

**2** [ハードウェア]→[デバイスマネージャ]→[表示]→[デバイス(接続別)]を選択する

インストール後、本機がパソコンに接続されると以下のように表示されます。

### USB2.0 に設定されている場合(Windows XP 例)



通常 **Enhanced Host Controller** に接続されます。

### USB1.1 に設定されている場合(Windows XP 例)



通常 **Universal Host Controller** または **Open Host Controller** に接続されます。

**Q** 最高速で再生できないのですが？

**A** ディスクによっては最高速で再生できないものがあります。

- 規格外ディスクの場合は、最高速では再生できない場合があります。

**Q** 本機で記録したディスク(メディア)は、他のドライブでも再生できますか？

**A** ●**CD-R/RW の場合**  
マルチリードに対応したドライブをご利用ください。

一部のCD-ROMドライブでは、再生できない場合があります。

●**DVD-R/RW、+R/RW の場合**

DVD-R/RW、+R/RWに対応したドライブをご利用ください。

[記録(書き込み)のフォーマット(マルチボーターなど)に対応していることが必要な場合もあります。]

●**DVD-RAM の場合**

DVD-RAMに対応したドライブとソフトが必要です。

●**DVD-R DL、+R DL の場合**

DVD-R DL、+R DLに対応したドライブでないと再生できない場合があります。

**Q** 他のドライブで記録されたディスク(メディア)は再生できますか？

**A** 通常は再生できます。  
ただし、いくつものドライブで記録されたものは、再生できない場合があります。

また、一部のドライブによって記録されたメディアは、再生できない場合があります。

## こんな疑問や質問があったら

**Q** 音楽データ (CD-DA 形式) をパソコン側に取り込みたいのですが？

**A** 付属のライティングソフトを使用してデータの取り込みを行ってください。パソコン上で、本機よりドラッグ&ドロップをしてもハードディスクなどには取り込めません。

**A** コピープロテクト(コピーコントロール)されたCDからのデータ取り込みには対応していません。

## ■ DVD ビデオ再生について

**Q** DVD ビデオが再生できない

**A** DVD ビデオ再生ソフトのマニュアルやヘルプおよび下記の事項をご確認ください。

- 複数のドライブが接続されている場合は、本機が選択されていない場合があります。
- DVD ビデオと本機および、再生ソフトのリージョンコードが合っていないと再生できません。リージョンコードが合っているかご確認ください。

**A** DVD の記録方式によっては、自動再生できない場合があります。下記の方法でご使用ください。

- はじめに PowerDVD を起動して本機にディスクをセットしてください。
- PowerDVD の [ドライブ/プレイモードの選択] から選択して、再生してください。

**Q** 本機で記録したディスク(メディア)は、DVDプレーヤーやDVDビデオレコーダーでも再生できますか？

**A** ●DVD-RAM、DVD-R/RW、+R/RWの場合  
再生する機器が、記録時の映像・音声の圧縮形式やフォーマット〔DVD-Video、DVD-RAM(-VR)、+RW(+VR)など〕に対応した機器であれば再生できます(すべての機器で再生を保証するものではありません)。

ただし、ディスクの状態や機器の状態(レンズなどの汚れなど)によっては再生できない場合があります。

●DVD-R DL、+R DLの場合

DVD-R DL、+R DLのディスクをご使用の場合は、DVD-R DL、+R DLでの再生に対応したDVDビデオレコーダーやDVDプレーヤーをご使用ください。

**Q** DVDビデオの音や画像がスムーズに再生できない

**A** DVDビデオをスムーズに再生するには、パソコンのシステム能力が要求されます。DVDビデオ再生ソフトのマニュアルやヘルプおよび下記の事項をご確認ください。

- インターフェースがUSB 1.1の場合、画像や音声が途切れることがあります。USB 2.0でお使いください。
- 他のアプリケーションを起動していたら終了してください。多くのアプリケーションを起動すると、CPU能力が不足する場合があります。
- ディスプレイの表示領域や色の設定を変更してください。表示領域や表示色を少なくすると、CPU能力を有効に使用できます。
- CPUのスピード設定をご確認ください。パソコンによっては、CPU能力の低い省電力モードに設定されている場合があります。
- 音声がミュートに設定されていないかご確認ください。

## ■ DVD ビデオ作成について

**Q** ビデオデータを取り込んだ後で記録を開始するまでに時間がかかるのですが？

**A** 取り込んだビデオデータによっては、記録する前に再エンコードされる場合があります。再エンコード処理を行うと、記録するまでに時間がかかります。

## ■ その他

**Q** 付属以外の記録(書き込み)ソフトで、本機が認識されません。どうしてですか？

**A** 記録(書き込み)ソフトが、本機に対応しないとご使用いただけません。

**Q** 縦置きで使用できますか？

**A** 縦置きでの動作は保証されておりません。故障の原因となる場合があります。水平に設置された状態でご使用ください。

**Q** USB バスパワーで動作中に AC アダプターを接続してもいいですか？

**A** インジケーターがオレンジ色点灯中は AC アダプターを抜き差ししないでください。本機は、ディスクカバーの開閉時に、動作電源 (AC 電源 / USB バスパワー) を認識し自動的に切り替えます。

**Q** AC 電源で動作中に AC アダプターを外してもいいですか？



# 製品サポートのご案内

## 本機の製品情報・ユーザーサポートやユーザー登録について

本機の製品情報やユーザーサポートに関する情報やユーザー登録をインターネットでご案内していますので、下記アドレスでご利用ください。

### ■ 製品情報およびユーザーサポート

(ユーザーサポートに関しては、83 ページもご参照ください。)

• <http://panasonic.jp/p3/>

### ■ ユーザー登録(ユーザー登録をしていただきますよう、お願いいたします)

(付属の CD-ROM の[ユーザー登録]からもご利用いただけます。)

• <http://panasonic.jp/support/p3/usr.html>

## 本機付属のアプリケーションに関しては、下記に直接お問い合わせをお願いします。

### PowerDVD / PowerProducer について

サイバーリンク株式会社(CyberLink Inc.)

ホームページ : <http://jp.cyberlink.com/>

オンラインサポート : <http://jp.cyberlink.com/support/>

カスタマーサポート : TEL : 0570 - 080 - 110

(PHS・一部 IP 電話は (03) 3516 - 9555)

FAX : (03) 3516 - 9559

月～金 10:00～13:00 14:00～17:00

(土・日・祝祭日・休業日を除く)

※ ご回答には、2～3 営業日お時間をいただく場合がございます。

### B's Recorder GOLD / B's File Guard について

株式会社ビー・エイチ・エー テクニカルサポートセンター

ホームページ : <http://www.bha.co.jp/>

オンラインサポート : <http://help.bha.co.jp/>

ユーザーサポート : TEL : (06) 4861 - 8234

FAX : (06) 6378 - 3336

月～金 10:00～12:00 13:00～17:00

(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日を除く)

※ ご回答には、2～3 営業日お時間をいただく場合がございます。

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ  
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ  
お申し付けください。

転居や贈答品などで  
お困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「P<sup>3</sup> カスタマーサポートセンター」へ！

## 修理を依頼されるとき

67ページの「故障かな!?'と思ったら」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず接続ケーブルを抜いて、コンセントから電源コードを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ● 保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

### ● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

### ● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

- ご連絡いただく場合は【サポート依頼書】もあわせてご参照ください。

## ■ 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのもと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

## ■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このポータブル DVD MULTI ドライブの補修用性能部品を、製造打ち切り後 7 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ご連絡いただきたい内容

品名	ポータブル DVD MULTI ドライブ
品番	LF-P968C
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

## ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。なお、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

## 修理に関するご相談

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル  **0570-087-087**  
(全国共通番号)

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口にご連絡ください。

## 商品についてのお問い合わせは

P<sup>3</sup>カスタマーサポートセンター



電話 **03-3436-1888**

FAX **03-3436-1889**

10:00~12:00、12:45~17:00

(※土・日・祝日は除く)

最新の情報をインターネットでご覧ください。

<http://panasonic.jp/p3>

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

## ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

●地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

### 北海道地区

<b>札幌</b> 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	<b>帯広</b> 帯広市西20条北2丁目23-3 ☎ (0155)33-8477
<b>旭川</b> 旭川市2条通16丁目1166 ☎ (0166)22-3011	<b>函館</b> 函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内) ☎ (0138)48-6631

### 東北地区

<b>青森</b> 青森市大字浜田字豊田364 ☎ (017)775-0326	<b>宮城</b> 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎ (022)387-1117
<b>秋田</b> 秋田市東通り2丁目1-7 ☎ (018)831-7833	<b>山形</b> 山形市平清水1丁目1-75 ☎ (023)641-8100
<b>岩手</b> 盛岡市厨川5丁目1-43 ☎ (019)645-6130	<b>福島</b> 郡山市亀田1丁目51-15 ☎ (024)991-9308

# 保証とアフターサービス

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

## ナショナル パナソニック 修理 ご 相 談 窓 口

● 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

首都圏地区	
<b>栃木</b> 宇都宮市上戸祭 3丁目3-19 ☎(028)689-2555	<b>東京</b> 東京都世田谷区宮坂 2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
<b>群馬</b> 前橋市箱田町325-1 ☎(027)254-2075	<b>山梨</b> 甲府市宝1丁目 4-13 ☎(055)222-5171
<b>茨城</b> つくば市筑穂3丁目 15-3 ☎(029)864-8756	<b>神奈川</b> 横浜市港南区日野 5丁目3-16 ☎(045)847-9720
<b>埼玉</b> 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	<b>新潟</b> 新潟市東明1丁目 8-14 ☎(025)286-0171
<b>千葉</b> 千葉市中央区末広 5丁目9-5 ☎(043)208-6034	

中部地区	
<b>石川</b> 金沢市横川3丁目20 ☎(076)280-6608	<b>愛知</b> 名古屋市瑞穂区 塩入町8-10 ☎(052)819-0225
<b>富山</b> 富山市根塚町1丁目 1-4 ☎(076)424-2549	<b>岐阜</b> 岐阜市中鷺4丁目42 ☎(058)278-6720
<b>福井</b> 福井市問屋町2丁目14 ☎(0776)25-5001	<b>高山</b> 高山市花岡町3丁目 82 ☎(0577)33-0613
<b>長野</b> 松本市寿北7丁目3-11 ☎(0263)86-9209	<b>三重</b> 津市久居野村町 字山神421 ☎(059)255-1380
<b>静岡</b> 静岡市葵区千代田 7丁目7-5 ☎(054)287-9000	

近畿地区	
<b>滋賀</b> 栗東市霊仙寺1丁目 1-48 ☎(077)582-5021	<b>奈良</b> 大和郡山市筒井町 800番地 ☎(0743)59-2770
<b>京都</b> 京都市伏見区竹田 中川原町71-4 ☎(075)646-2123	<b>和歌山</b> 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
<b>大阪</b> 大阪市北区本庄西 1丁目1-7 ☎(06)6359-6225	<b>兵庫</b> 神戸市須磨区弥栄台 3丁目13-4 ☎(078)796-3140

中国地区		
<b>鳥取</b> 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	<b>浜田</b> 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629	
<b>米子</b> 米子市米原4丁目 2-33 ☎(0859)34-2129	<b>岡山</b> 岡山市田中138-110 ☎(086)242-6236	
<b>松江</b> 松江市平成町 182番地14 ☎(0852)23-1128	<b>広島</b> 広島市西区南観音 8丁目13-20 ☎(082)295-5011	
<b>出雲</b> 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	<b>山口</b> 山口市小郡下郷 220-1 ☎(083)973-2720	

四国地区	
<b>香川</b> 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-6388	<b>高知</b> 高知市仲田町2-16 ☎(088)834-3142
<b>徳島</b> 徳島市沖浜2丁目36 ☎(088)624-0253	<b>愛媛</b> 愛媛県伊予郡砥部町 八倉75-1 ☎(089)905-7544

九州地区	
<b>福岡</b> 春日市春日公園 3丁目48 ☎(092)593-9036	<b>宮崎</b> 宮崎市本郷北方 字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213
<b>佐賀</b> 佐賀市鍋島町大字 八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151	<b>熊本</b> 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
<b>長崎</b> 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	<b>天草</b> 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
<b>大分</b> 大分市萩原4丁目 8-35 ☎(097)556-3815	<b>鹿児島</b> 鹿児島市与次郎 1丁目5-33 ☎(099)250-5657
	<b>大島</b> 名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101

沖縄地区	
<b>沖縄</b> 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207	

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0107

【サポート依頼書】

整理番号：

お問い合わせ日	年 月 日	品 番	LF-P968C	
お買い上げ日	年 月 日	製造番号 (11ケタ)		
フリガナ				ユーザー登録：済 / 未
お名前				
ご住所 (ご連絡先)				
<input type="checkbox"/> ご自宅	☎	( )		
<input type="checkbox"/> 勤務先	FAX	( )		
	E-mail	@		
購入店名				
ご使用中のパソコンの機種(メーカー)名				
メーカー名			機種名	
ご使用中の OS の名称とバージョン (いずれかに○をつけてください)				
Windows Vista (初期導入 / アップグレード)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Home Basic</li> <li>・ Home Premium</li> <li>・ Business</li> <li>・ Ultimate</li> </ul>	Windows XP (初期導入 / アップグレード)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Home Edition</li> <li>・ Professional</li> </ul>	Windows 2000 (初期導入 / アップグレード)
ご使用中のおもな周辺機器	メーカー名		形式名	
どのような状況になりましたか？ (エラーメッセージ、「故障かな!?' と思ったら」 でチェックした項目番号など、できるだけ詳しくお書きください。)				

# 推奨品

下記の推奨品をお買い求めの際には、販売店に品名を指定してください。

ディスク	メーカー
DVD-RAM*	松下電器産業(株)、日立マクセル(株)
DVD-R (for General)	松下電器産業(株)、太陽誘電(株)、三菱化学メディア(株)
DVD-R DL	三菱化学メディア(株)
DVD-RW	日本ビクター(株)、三菱化学メディア(株)
+R	(株)リコー、三菱化学メディア(株)
+R DL	三菱化学メディア(株)
+RW +RW (High Speed)	(株)リコー、三菱化学メディア(株)
CD-R	太陽誘電(株)、三菱化学メディア(株)、日立マクセル(株)
CD-RW CD-RW (High Speed) CD-RW (Ultra Speed)	三菱化学メディア(株)

## DVD-RAM ディスク

### 松下電器産業(株)製ディスク

- LM-HB 94 シリーズ (1枚)(9.4 GB)(TYPE 4)
- LM-HB 47 シリーズ (1枚)(4.7 GB)(TYPE 2 / TYPE 4)
- LM-HC 47 シリーズ (1枚)(4.7 GB)(カートリッジなし)

\* RAM2 マークの付いたディスクには対応していません。

# 仕様

使用環境	温度 5℃～35℃ 湿度 20%～80%(結露なきこと)
保存環境	温度 -20℃～55℃ 湿度 15%～85%(結露なきこと)
本体外形寸法	135(幅)×135.6(奥行)×14.8(高さ) mm
本体質量	約 290 g
電源	AC アダプター : KX-WZ712(付属) AC 100 - 240 V、50/60 Hz USB バスパワー : 専用 USB ケーブル(付属)、 コンバインケーブル(別売)
消費電力	AC アダプター : 約 13 W(AC 100 V 動作時) (AC アダプター単体 : 約 1 W) USB バスパワー : 約 6 W(USB バスパワー動作時)
対応インターフェース	USB2.0 および USB1.1 (USB2.0 での動作を推奨します)
専用 USB ケーブル	ケーブルの長さ : 約 0.5 m(コネクターを含む) 質量 : 約 30 g
バッファ容量	2 MB
対応フォーマット	CD-DA(音楽 CD)、CD TEXT、CD-EXTRA、 CD-ROM(Mode 1、Mode 2 Form 1)、 CD-ROM XA(Mode 2 Form 2)、 Photo CD*1 (マルチセッション 対応)、Video CD DVD-ROM、DVD-Video、DVD-R(-VR)、DVD-R DL(-VR)、 DVD-RAM(-VR)、DVD-RW(-VR)、+RW(+VR)
対応ディスク*2	DVD-RAM(120 mm、80 mm) *3 両面 9.4 GB、2.8 GB 片面 4.7 GB、2.6 GB*4、1.4 GB DVD-R(for General、Ver. 2.0/2.1)4.7 GB DVD-R DL(Ver. 3.0)8.5 GB DVD-RW(Ver. 1.1/1.2)4.7 GB +R(Ver. 1.0/1.1/1.2/1.3)4.7 GB +R DL(Ver. 1.0/1.1)8.5 GB +RW(Ver. 1.1/1.2/1.3、High Speed Ver. 1.0)4.7 GB CD-R、CD-RW、High Speed CD-RW、 Ultra Speed CD-RW(いずれも 650 MB/700 MB)

※ 製品の定格およびデザインは、改善などのため、予告なく変更する場合があります。

\*1 Photo CD 使用時には市販の再生ソフトが必要です。

\*2 ディスク容量はアンフォーマット時の容量です。

両面ディスクは同時に両面の記録再生はできません。

\*3 カートリッジ形式のディスクは、TYPE2、TYPE4 のディスク取り出しができるものに限ります。  
RAM2 マークの付いたディスクには対応していません。

\*4 記録には対応していません。

<b>連続データ 転送速度</b> *6 (USB 2.0 の場合) 1 倍速の転送レート DVD メディア： 1350 KB/s CD メディア： 150 KB/s (AC アダプター/ USB パスパワー)	記 録 *5	DVD-RAM	最大 5 倍速、3 倍速、2 倍速
		DVD-R	最大 8 倍速、最大 6 倍速、 最大 4 倍速、2 倍速、1 倍速
		DVD-R DL	最大 4 倍速、2 倍速
		DVD-RW	最大 6 倍速、最大 4 倍速、 2 倍速、1 倍速
		+R	最大 8 倍速、最大 6 倍速、 最大 4 倍速、2.4 倍速
		+R DL	最大 4 倍速、2.4 倍速
		+RW	最大 4 倍速、2.4 倍速
		+RW (High Speed)	最大 6 倍速、3.3 倍速
	再 生	CD-R	最大 24 倍速、最大 16 倍速、 最大 12 倍速、8 倍速、4 倍速
		CD-RW	4 倍速
		CD-RW (High Speed)	10 倍速、8 倍速、4 倍速
		CD-RW (Ultra Speed)	最大 16 倍速、10 倍速
		DVD-RAM	最大 5 倍速、3 倍速、2 倍速(4.7 GB) 1 倍速(2.6 GB)
		DVD-R, +R	最大 8 倍速
		DVD-R DL, +R DL	
DVD-RW, +RW、 +RW (High Speed)		最大 6 倍速	
DVD-Video		最大 4 倍速	
DVD-ROM (Single)		最大 8 倍速	
DVD-ROM (Dual)		最大 6 倍速	
CD-ROM			
CD-R	最大 24 倍速		
CD-RW			
CD-DA	最大 20 倍速		
<b>シークタイム</b> (AC 電源 / 自社測定ソフトによる)	DVD-ROM	180 ms	
	CD-ROM	150 ms	
<b>リージョンコード 設定</b>	出荷時設定	2 (日本地域に設定)	
	設定変更回数	4 回(4 回目以降は変更不可)	
<b>対応 OS</b>	Windows Vista、Windows XP、Windows 2000		
<b>対応パソコン</b> *6	USB ポートを搭載した DOS/V パソコン(☞ 19 ページ)		

\*5 記録速度に対応したメディアをご使用ください。  
 (メディアによっては指定した速度で記録できない場合もあります。)

\*6 データ転送速度はパソコンの性能(システム構成)に依存し低下する場合があります。



# エンドユーザーライセンス契約書

本契約書は、お客様と松下電器産業株式会社との間の契約書です。  
付属されているソフトウェアプログラム(本ソフトウェアといいます)の袋を開封する前に、この契約の条件を十分にご確認ください。

袋を開封されますと、お客様はこの契約に同意したことになります。  
お客様がこの契約に同意できない場合には、未開封のままの袋と共に購入いただいたポータブル DVD MULTI ドライブ 一式をご購入店へ返品ください。  
お支払い済の購入代金を返却致します。

ただし、袋を開封されたり、部品を遺失されますと、購入代金は返却致しかねますので、ご了承ください。

## 1 著作権

弊社は、パナソニック コミュニケーションズ株式会社あるいはその許諾者(許諾者と総称します)が著作権を有する本ソフトウェアに関し、お客様へのライセンスに必要な権利の許諾を受けております。

ポータブル DVD MULTI ドライブの購入により、お客様にはこの契約中で許諾される以外は何らの権利も発生せず、それらの権利のすべては許諾者あるいは弊社に帰属します。

## 2 使用条件

(1) お客様は、1台のコンピューター上でのみ本ソフトウェアを使用することができます。

ネットワークで使用するために、ネットワークサーバーに本ソフトウェアをインストールすることは許諾されません。

(2) お客様は、本ソフトウェアあるいは付属する印刷物を複製したり、第三者にその許諾をすることはできません。

但し、(a)バックアップ用あるいは保管用として必要な本数、本ソフトウェアをコピーすること、及び(b)お客様が本ソフトウェアのオリジナルをバックアップ用あるいは保管用とすることを条件として、1台のコンピューターのハードディスクに本ソフトウェアをインストールすることは許諾されます。

# エンドユーザーライセンス契約書

- (3) お客様は、本ソフトウェアを第三者に貸したり、リースすることはできません。  
但し、お客様がこの契約書と共に本ソフトウェアのすべてのコピー、付属する印刷物並びにポータブル DVD MULTI ドライブを同時に譲渡し、譲渡を受ける方がこの契約の条件に同意した場合に限り、この契約に基づくお客様の権利を譲渡することはできます。
- (4) お客様は、本ソフトウェアをリバース・エンジニア、逆コンパイルあるいは逆アセンブルしてはなりません。
- (5) お客様は、この使用条件に規定された場合を除き、本ソフトウェアの全部あるいはその一部を使用、複製、修正、変更あるいは譲渡してはなりません。
- (6) 本契約書は、お客様が適法に使用許諾を受けたことの証明書となりますので大切に保管してください。

## 3 契約期間


お客様は、いつでも、本ソフトウェア、付属の印刷物並びにこれらの複製物のすべてを破棄することでこの契約を終結することができます。  
また、お客様がこの契約書の条件に違反した場合にも、この契約は終結します。この場合、お客様は本ソフトウェア、付属の印刷物並びにこれらの複製物のすべてを破棄していただくものとします。

## 4 保証

- (1) 弊社(その許諾者を含む)は、お客様あるいは他の第三者に対して、一切の明示あるいは黙示の保証を行いません。  
また本ソフトウェアの機能がお客様の要求に合致していることも、本ソフトウェアに欠陥がないことも一切保証致しません。
- (2) 弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することあるいは使用できなかったことから生じる偶発的あるいは間接的な損害、または受けられるべき救済の損失、得べかりし利益の損失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。  
弊社が責任を負う場合は、いかなる場合であってもその金額は、お客様によるポータブル DVD MULTI ドライブのお支払い済みの購入代金を超えないものとします。ただし、弊社の故意または重過失に基づく場合はこの限りではありません。

<b>BIOS</b> (バイオス)	正式名は Basic Input Output System で、フロッピーディスクドライブやハードディスクドライブなどのディスクドライブ、キーボードなどパソコンのハードウェアを動かすために必要となる最も基本的なソフトウェアです。通常はパソコン本体に内蔵されています。
<b>CD-EXTRA</b>	音楽 CD のデータの他に、CD-ROM のデータが記録された CD のことです。特に内周側を通常の音楽 CD、それより外周側を CD-ROM として使用しているものの呼称です。  や  のマークが入っています。
<b>CD-R</b>	正式名は Compact Disc Recordable で、一度だけ記録可能なコンパクトディスクです。一度記録したデータの消去や書き換えはできません。記録(書き込み)モードによっては、空き領域に追記が可能です。
<b>CD-RW</b>	正式名は Compact Disc ReWritable で、記録したデータ全体または最後のセッションが消去でき、再度記録や書き換えが可能です。
<b>CPRM</b>	Content Protection for Recordable Media の略で著作権保護技術のひとつで、録画を制限します。デジタル放送にも適用され、1 回だけ録画可能です。CPRM に対応した機器や再生ソフトとメディアでないと録画や再生ができません。
<b>DVD</b>	正式名は Digital Versatile Disc(デジタル多目的ディスク)で、CD と同じサイズの DVD-ROM は CD-ROM の 7 倍以上のデータ容量を持っています。
<b>DVD MULTI RECORDER</b>	DVD 機器の互換性を保証する規格で、「DVD MULTI RECORDER」のロゴを持つドライブなら、DVD-RAM/DVD-R/DVD-RW の各フォーマットでの記録ができます。
<b>DVD-R</b>	DVD フォーラムによって規格化された、追記可能な 1 回記録型の DVD メディアで「for General (民生用)」と「for Authoring (業務用)」があります。

DVD-R DL (Dual Layer)	DVD フォーラムによって規格化された、片面で 2 層の記録層を持った追記可能な 1 回記録型のメディアで、DVD-R の約 2 倍(8.5 GB)の記録容量を持っています。
DVD-RAM	DVD フォーラムによって規格化された、繰り返し記録再生ができる DVD メディア(4.7 GB(12 cm)、1.4 GB(8 cm))で、「for Data(パソコン用)」、「for Video(録画用)」があり、それぞれカートリッジありと無しがあります。
DVD-RW	DVD フォーラムによって規格化された、繰り返し記録再生ができる DVD メディアで「for Data(パソコン用)」と「for Video(録画用)」があります。
ビデオ DVD-Video	DVD フォーラムによって規格化された、DVD 仕様のひとつです。映画など、主に家庭用ビデオソフトを DVD に記録したもので、再生地域ごとの著作権保護機能があります。
DVD ビデオ レコーディング 規格	DVD フォーラムによって規格化された、DVD のディスクにビデオデータを記録する方式のことです。「VR 規格」「VR 形式」とも呼ばれ、単に「VR」「-VR」と表記される場合もあります。( -VR と +VR は互換性はありません。)
High Speed CD-RW、 CD-RW (High Speed)	4 倍速から 10 倍速の記録に対応した、CD-RW のメディアです。記録には、High Speed CD-RW に対応したドライブが必要です。  のマークが表示されています。
Photo CD	米国の Eastman Kodak Company により研究開発された技術です。1 枚の CD-ROM にたくさんのイメージ画像(写真など)が保存できます。
+R	+RW アライアンスによって策定された、追記可能な 1 回記録型のメディアで、DVD-R と同じ記録容量を持っています。

+R DL (Double Layer)	+RW アライアンスによって策定された、片面で2層の記録層を持った追記可能な1回記録型のメディアで、+Rの約2倍(8.5 GB)の記録容量を持っています。
+RW	+RW アライアンスによって策定された、繰り返し記録再生ができるメディアでDVD-RWと同じ記録容量を持っていますが、互換性はありません。データを記録する場合は、フォーマット実行後データを記録します。
SmoothLink	松下電器産業株式会社で開発された「バッファアンダーランエラー(転送速度エラー)」を回避することができる技術です。
UDF フォーマット	Universal Disk Formatの略で、パケットライティングや各種DVDディスク(DVD-RAM、DVD-Video、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RW)に採用されているディスクフォーマットです。
Ultra Speed CD-RW、 CD-RW (Ultra Speed)	8倍速から24倍速の記録に対応した、CD-RWのメディアです。記録には、Ultra Speed CD-RWに対応したドライブが必要です。  のマークが表示されています。
USB	Universal Serial Busの略で、各種の周辺機器とパソコンを接続するための業界標準規格です。
USB2.0	USB2.0は、USB-IF(USB Implementers Forum)によって制定された、USB1.0/1.1上位互換の高速なUSBインターフェースです。データ転送は最大で、USB1.1の約40倍となります。
USB バスパワー	パソコンのUSBポートから供給される電源を使用して、周辺機器を動作させる方式のことです。
-VR 規格、 -VR フォーマット	DVDフォーラムによって規格化された、ビデオレコーディング規格で、ビデオデータを記録し編集できます。単に-VRまたはVRとも呼ばれ、DVD-Video形式や、+VR形式とは互換性がありません。DVD-RAMやDVD-RWなどに使用します。

+VR 形式、 +VR フォーマット	+RW アライアンスによって策定された、ビデオレコーディング方式で、ビデオデータを記録し編集できます。単に +VR と呼ばれ、+RW メディアに使用しますが -VR とは互換性がありません。
インストール	一般に、デバイスドライバーなどのソフトウェアをパソコンのシステムに登録する作業をいいます。
エンコード	動画データを DVD ビデオ規格に適した MPEG ファイルに変換処理を行うことです。パソコンの CPU を使うソフトウェアエンコードと専用 IC を使うハードウェアエンコードがあります。
オンザフライ方式	データをソースファイルから直接読み込んで、ディスク（メディア）に記録する方式です。大きなイメージファイルを必要とせず、ハードディスクの空き容量が少なくても済みます。
記録予備領域 (交替領域)	DVD-RAM ディスクの記録領域でユーザー管理領域（使用領域）外に、記録時に記録状態の悪いセクターを確認し、データを退避させる予備の記録領域です。
コンバインケーブル	コンバインケーブルとは、パソコンの USB ポート 2 つから電源を周辺機器に供給するケーブルです。
再生可能地域コード (リージョンコード)	DVD ビデオは、再生できる地域が決められており地域ごとに管理されています。日本の地域コードは「2」です。
ディスクアットワンス (Disc at once)	CD 全体のデータをまとめて作成し、一度に記録する方法です。追加記録はできません。
トラックアットワンス (Track at once)	ひとつのトラックを、一度に記録する方法です。CD-EXTRA の作成などに利用されます。
パケットライティング (Packet writing)	パソコン上でファイルとして扱えるデータをパケットと呼ばれる単位で記録する方法です。

<b>バッファ アンダーラン</b> <small>または バッファ アンダーランエラー</small>	ドライブのバッファメモリー内のデータが記録中に、瞬間的に空になってしまい、記録が中断されてしまう現象で、記録エラーとなります。
<b>物理フォーマット</b>	ディスク定義情報や欠陥管理情報の記録を行い、セクター（ディスクでデータを管理する単位）レベルでのアクセスを可能にする動作のことです。
<b>ホットプラグ</b>	周辺機器をパソコンの電源が入った状態で抜き差しする操作をいいます。
<b>マルチセッション (Multisession)</b>	CD-ROM のフォーマットのひとつです。1 枚の CD に複数のセッションが記録されているものです。 +R でも採用され、この場合は追記が可能になります。
<b>マルチボーダー (Multiborder)</b>	DVD-R において、CD-R で採用されている「マルチセッション」と同等の機能を、「マルチボーダー」と呼び、DVD-R で追記を可能にする方式です。
<b>論理フォーマット</b>	初期化（イニシャライズ）とも呼びます。DVD-RAM ディスクがパソコンで記録・再生できるように、システムの各種管理情報をディスクに記録することです。

本機は、バックグラウンドフォーマットやクイックフォーマットにも対応していますので、B's CLiP などのパケットライティングソフトを使用した場合、それぞれ以下のような動作となります。

### バックグラウンドフォーマットについて

+RW メディアでは最初に必要最低限の部分のみ通常のフォーマットを行い使用可能状態にします。残りの領域はドライブが使用されていない間を利用して、自動的にフォーマットを継続しますが、このフォーマット処理の方法をバックグラウンドフォーマットと呼びます。

バックグラウンドフォーマット中でも、ディスクへの記録や取り出しが可能です。フォーマットが完全に終了していないディスク(メディア)では、ディスクの再挿入後にフォーマット処理を自動的に再開します。

本機では、バックグラウンドフォーマット中はインジケータは緑色 / オレンジ色に交互点灯します。

### クイックフォーマットについて

DVD-RW メディアでは最初に必要最低限の部分のみ通常のフォーマットを行い、短時間(1～3分)で使用可能状態にします。

残りの領域はデータの記録時に必要な部分だけ、都度フォーマットを行いデータを記録しますが、このフォーマット処理の方法をクイックフォーマットと呼びます。

本機では、クイックフォーマット中はインジケータは緑色 / オレンジ色に交互点灯します。



# さくいん

## — アルファベット順 —

- AC アダプター ..... 4、10、22  
BIOS ..... 75、91  
B's File Guard  
..... 28、49、56、81  
B's Recorder GOLD  
.....14、28、49、56、81  
CD ..... 13、14、16、48  
CD-DA ..... 13、16  
CD-EXTRA ..... 13、16、91  
CD-R ..... 13、14、16、48、91  
CD-ROM ..... 13、16、48  
CD-ROM XA ..... 13、16  
CD-RW ..... 13、14、16、91  
DC 入力端子 ..... 21  
DVD ..... 15、91  
DVD-MovieAlbum  
..... 14、28、49、59  
DVD-R ..... 13~15、48、91  
DVD-RAM  
..... 13~15、17、18、40、92  
DVD-RAM ドライバー  
..... 14、28、32  
DVD-ROM ..... 13、15、48  
DVD-RW ..... 13~15、48、92  
DVD-Video(DVD ビデオ)  
..... 13、15、48、92  
FAT32 形式 ..... 41  
High Speed CD-RW ..... 16、92  
Photo CD ..... 13、16、92  
PowerDVD  
..... 14、28、49、51、81  
PowerProducer  
..... 14、28、49、54、81  
SmoothLink... 20、73、75、93  
UDF 形式 ..... 41  
Ultra Speed CD-RW ..... 16、93  
USB1.1 ..... 31  
USB2.0 ..... 31、93  
USB ケーブル ..... 4、22、23  
USB コネクター ..... 21~24  
USB バスパワー ..... 23、24、93  
USB バスパワー診断ツール ..... 64  
Video CD ..... 13、16、48

## — 五十音順 —

### あ

インジケータ  
..... 20、26、37、55、58、96  
インストール ..... 94  
オープンボタン ..... 20、25、26  
音楽 CD ..... 13、16、48

### か

強制オープンレバー ..... 21、27  
コピーコントロール ..... 11  
コンバインケーブル ..... 4、24、94

### さ

再生可能地域コード  
(リージョンコード) ..... 53

### た

ディスク ..... 13～18、25、48  
ディスクアットワンス  
..... 15、16、94  
ディスクカバー ..... 20、25、63  
電源コード ..... 4、22  
ドライブチェッカー  
..... 28、49、61  
トラックアットワンス ..... 16、94

### は

パケットライティング ..... 94、96  
バッファアンダーランエラー  
..... 93、95

### ま

マルチセッション ..... 16、48、95  
マルチボーダー ..... 48、95  
モードスイッチ ..... 21

### ら


ライトプロテクトツール ... 28、45

この製品は日本国内用です。日本国外での使用に対するサービスは致しかねます。

This product is designed for use in Japan. Panasonic does not take any service of this product using in other countries.

此产品仅供日本国内使用。在日本国外使用时将不提供售后服务。

## 愛情点検 長年ご使用のポータブルDVD MULTIドライブの点検を！

	<p>こんな症状はありませんか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ACアダプターのケーブルやプラグが異常に熱い</li> <li>● 煙が出たり、異常な臭いや音がする</li> <li>● 水や異物が入った</li> <li>● その他の異常や故障がある</li> </ul>	<p>このような症状の時は、故障や事故の防止のため、接続ケーブルを抜いて、コンセントから電源コードを抜き、販売店に点検をご依頼ください。</p>
	▶		

### リサイクルについて

本製品を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄物処理に関連する条例または規則に従ってください。

## 便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年	月	日	品番	LF-P968C
販売店名	☎ (     )     -				
お近くの当社 修理相談窓口	☎ (     )     -				

松下電器産業株式会社

パナソニック コミュニケーションズ株式会社 デバイスカンパニー

(なごみまち)

〒865-0193 熊本県玉名郡和水町高野 1080